

金沢マラソンにおける地域ランナーと
地域コミュニティの活性化

金沢星稜大学
(金沢マラソン検証研究グループ)

西村 貴之

KM2023 「地域ランナー枠／地域ランナー」の概略①

- ・地域ランナーとしての出場希望者を対象に、定員500人で優先的に抽選する。
- ・地域ランナー枠で落選した場合は、全体抽選で再び抽選対象になる。
- ・**地域ランナー枠で落選し、全体抽選で当選した場合でも、地域ランナーとなる。**

・参加資格

- 1) 2023年4月1日時点で金沢市内の町会に加入している
※申込後に各校下町会連合会に加入確認
- 2) 校下（地区）名入りアスリートビブスを装着のうえ、大会に参加すること
- 3) 当選した際には応援のため、主催者から当該校下（地区）町会連合会に、住所及び氏名を連絡することを承諾すること

・申込方法

webエントリー ※町会連合会を通じたの申込は「なし」

・申込期間

2023年4月14日（金）～5月24日（水）※一般のエントリー期間と同じ

・参加定員

500人（62校下・地区合計）※校下（地区）ごと定員は2022大会から「廃止」
（参考：2021大会）180人（62校下・地区合計）※校下（地区）世帯数に応じて定員を設定

・参加料金

15,000円 ※一般参加と同額



※表示イメージ

KM2023 「地域ランナー枠／地域ランナー」の概略②

	2021大会	2022大会	2023大会	増減 (2022→2023)
申込期間	7/16～7/23 ※一般抽選結果発表後	4/19～5/25 ※一般エントリー期間中	4/14～5/24 ※一般エントリー期間中	—
参加定員	180人 ※校下ごと定員あり	500人 ※校下ごと定員は廃止	500人 ※校下ごと定員なし	なし
申込者数	143人	1,277人	1,565人	288人
出場者数 地域ランナー枠	102人	451人	500人	49人
出場者数 一般枠/地域ランナー	—	—	489人	489人
地域ランナー 倍率 (出場者数/申込者数)	0.79	2.83	1.58	▲1.25
出場があった町連数 (全62町連のうち)	44町連	56町連	60町連	4町連
申込があった町連数 (全62町連のうち)	45町連	58町連	61町連	3町連

60町会連合会から「989名」の地域ランナーが出場

リサーチクエッション（検討課題）

- 1) どんな人が「地域ランナー」として走ったのか？
 - 2) 「地域ランナー」として参加したランナーはどのような感想を抱いたのか？
 - 3) 各校下（地区）は「地域ランナー」をどのように受け止めたのか？
- ▷ 「地域ランナー」は
どのように運用・活用されていくべきか？

リサーチクエッション（新規の視点①）

「地域ランナー経験者」は大会後、
地域にどう関わりたいと考えているのか？

【追加質問項目（地域ランナー向け）】

- ・ 次年度（2024年度）の金沢マラソン大会にランナーとして出走しない（できない）場合に、地元の応援スポットの企画・運営に協力したいと考えますか？
- ・ 地域ランナー経験者として、地元の行事に参加・協力したいと思えますか？
- ・ 地域ランナー経験者として、地元からの行事への参加・協力の依頼を受けたことがありますか？

リサーチクエッション（新規の視点②）

「各校下（地区）」は地域ランナー経験者に大会後、地域にどう関わって欲しいと考えているのか？

【追加項目（地域関係者向け）】

- ・次年度（2024年度）の金沢マラソン大会にランナーとして出走しない「地域ランナー経験者」に、応援スポット運営に協力してほしいですか？
- ・地域ランナー経験者に金沢マラソン以外の地元の行事に参加・協力して欲しいですか？
- ・地域ランナー経験者に金沢マラソン以外の地元行事に参加・協力を依頼したことがありますか？

調査方法

1) 地域ランナーに対するアンケート調査

- ・ 地域ランナー全員を対象にメールで通知
>googleフォームでの回答を依頼
- ・ 回答期間：11月6日（月）～11月24日（金）
※回答期限後の回答も受け付けた（最終回答：1月14日（日））
- ・ 回答数 470／989名 【回答率：47.5%】

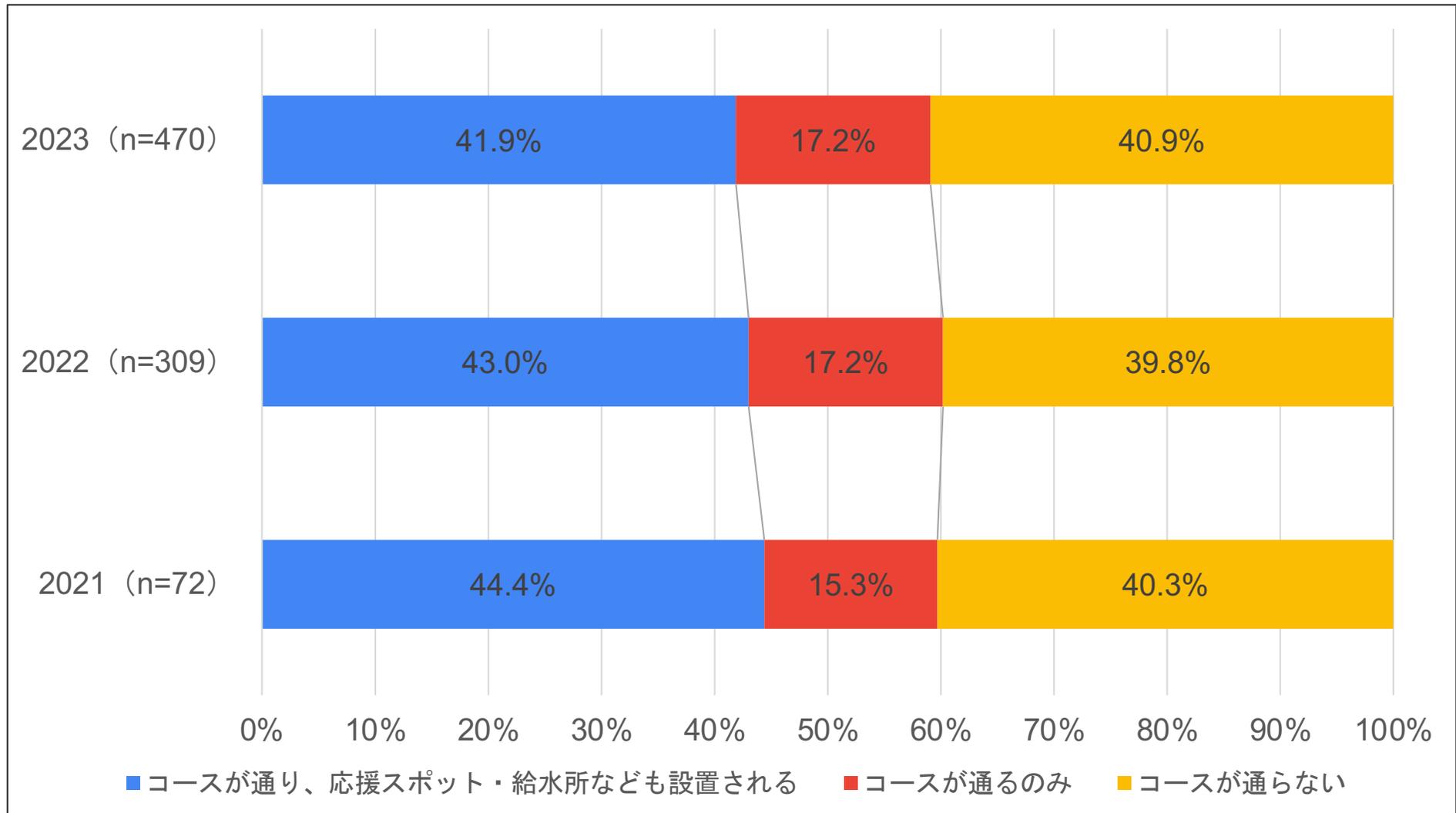
2) 校下（地域）関係者（公民館を窓口）に対するアンケート調査

- ・ 全62町会連合会の事務局（公民館）に紙の調査票を送付
>googleフォームでの回答を依頼（各町連に2名程度の回答を打診）
- ・ 回答期間：11月6日（月）～11月24日（金）
- ・ 回答数 42 （※依頼時の打診方法により回答率は省略）

自由記述内容の集計、分析はユーザーローカルAIテキストマイニングを用いて実施した。（<https://textmining.userlocal.jp/>）



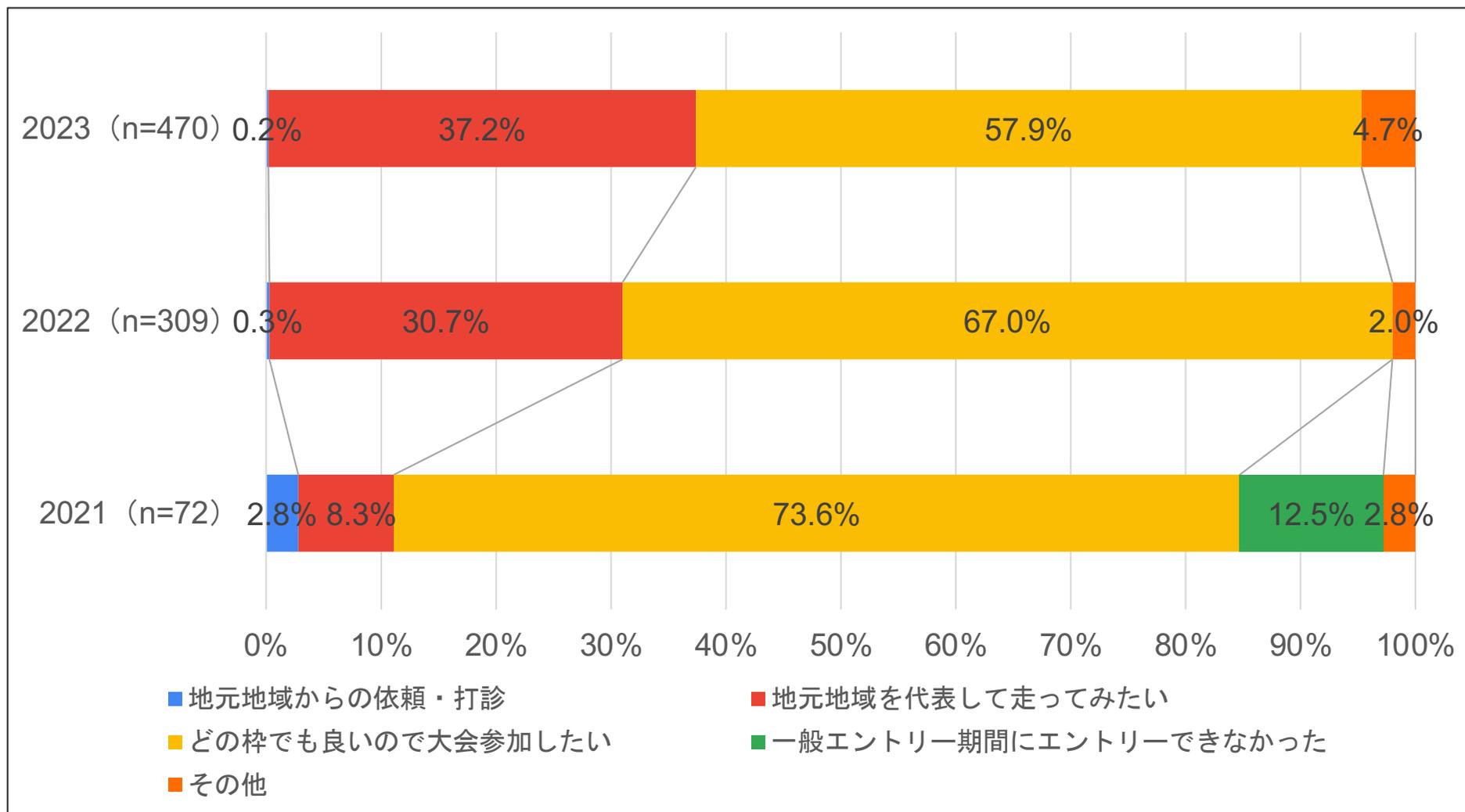
「地域ランナー」の地元校下とコースの関係



応援スポット・給水所の設置校下に居住するランナーと
コースが通らない校下に居住するランナーがほぼ同数



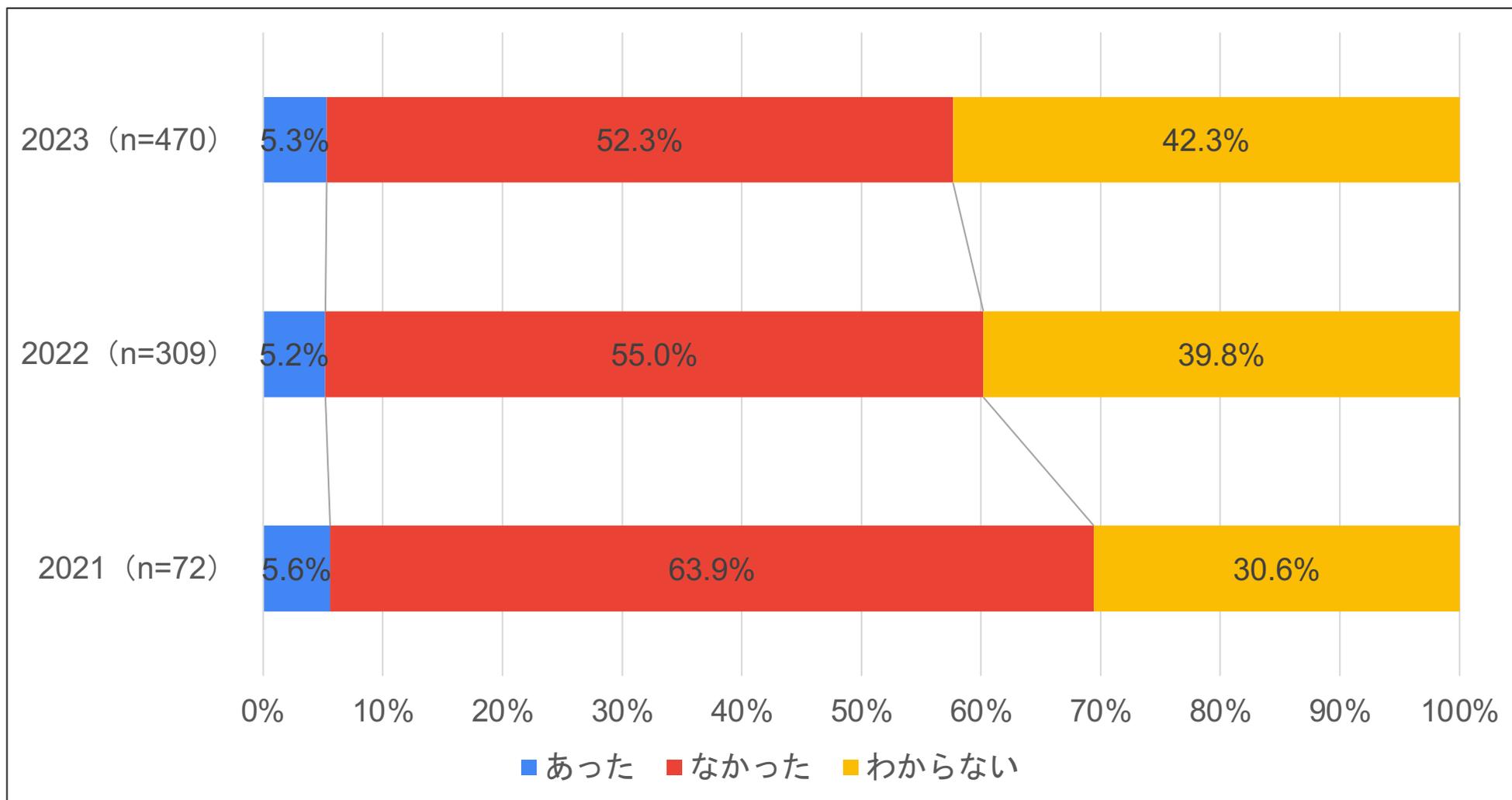
「地域ランナー」の申込動機



「どの枠でも良いので大会参加したい」層が多数派ではあるが、「地元地域を代表して走ってみたい」層が増加傾向にある。



地元校下（地域）での大会前の事前応援の取組み



事前応援「あり」は極めて少数、「わからない」も増加



地元校下（地域）での大会前の事前応援の内容 （自由記述より抜粋）

- ・ 地域団体のFacebookやグループLINEで出場選手の紹介があった
- ・ 結ねっとで地域枠で走るランナーの告知があった。
- ・ 地域のシンボル”奴”のマークを付けてくださいと渡された。
- ・ 地域マスコットキャラクターと応援文書の送付があった
- ・ 沿道応援できるように地域キャラクターのワッペンが配布された

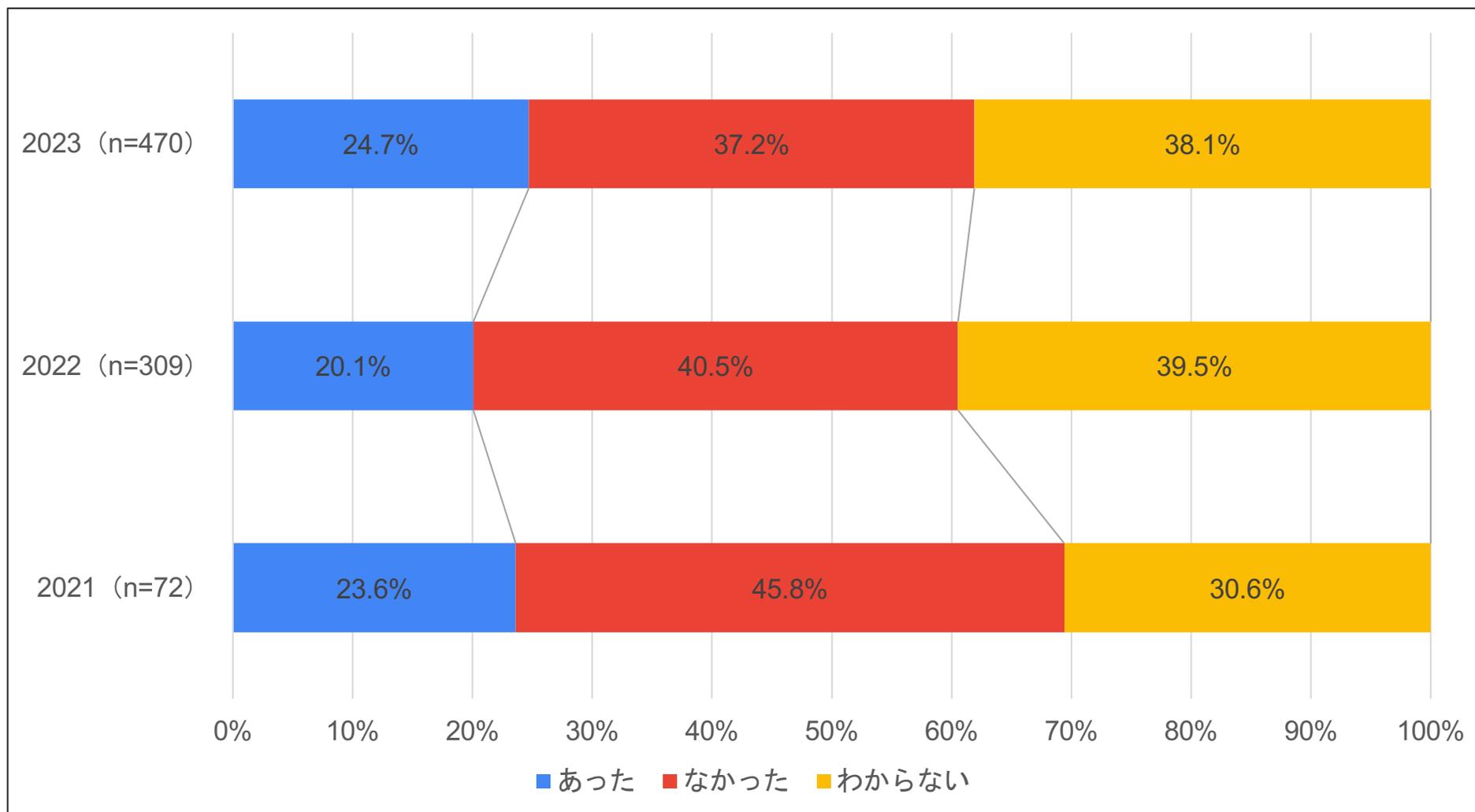
- ・ ステッカー配布

- ・ 参加費の補助

- ・ 個別の連絡あり



地元校下（地域）での大会当日の応援の取組み



事前応援に比べると増加するものの全体で見ると「あり」は少数派



地元校下（地域）での大会当日の応援の内容 （自由記述より抜粋）

1. 地域からの声援と応援団

- 吹奏楽やバンドによる応援
- バトントワリングチームや体育部による演技
- 太鼓や鼓笛隊による応援
- 学童野球チームや少年野球チームによる応援
- ゼッケンや氏名による声援

2. サポートアイテムによる応援

- 名前入りサポートアイテム（ボード、うちわ、プラカードなど）
- 応援幕や横断幕による応援
- 応援ボードや応援パネルによる歓迎

3. 応援スポットでの声援

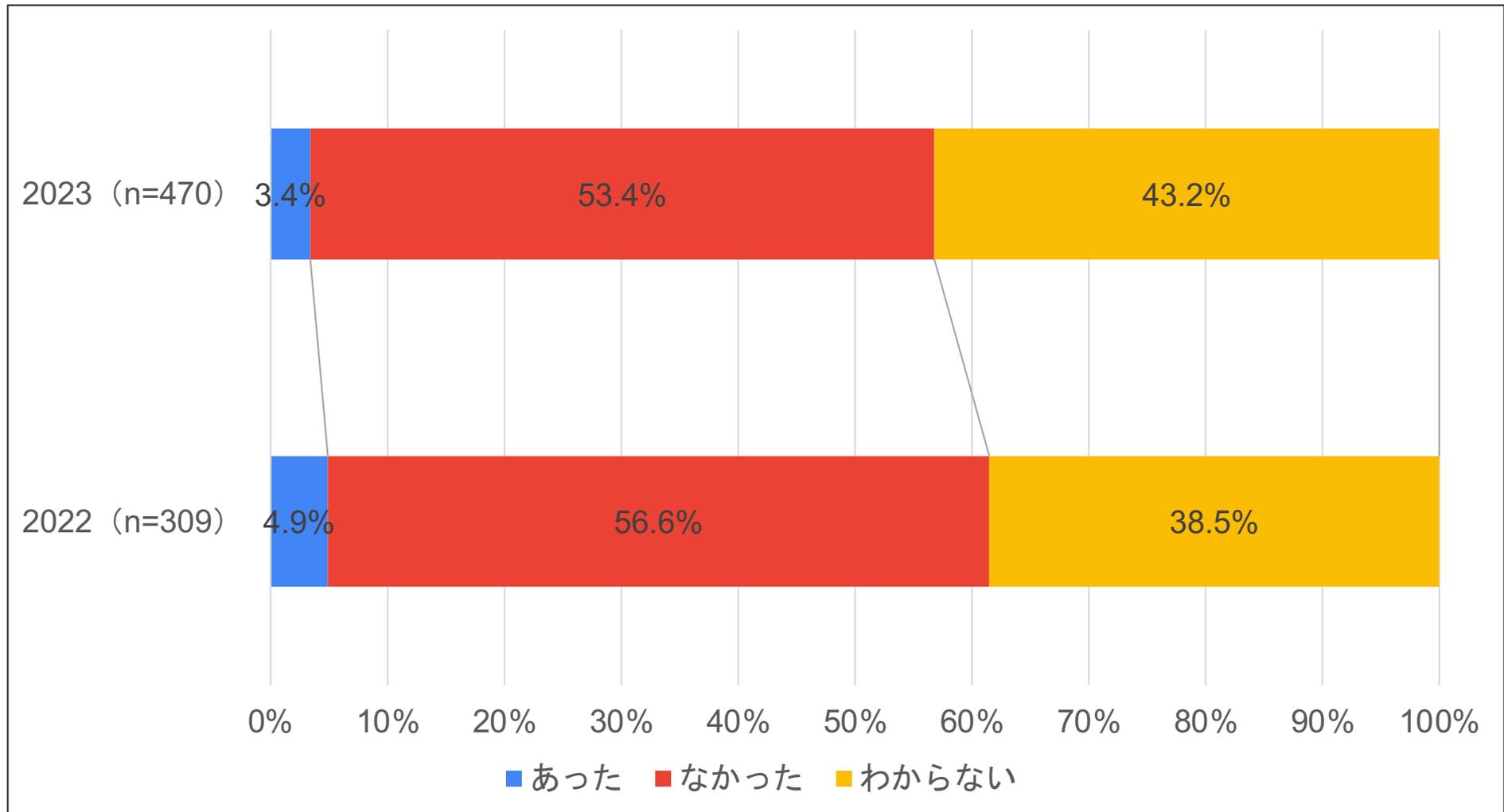
- 応援スポットでの声援
- 沿道の応援スポットが設定された

4. 校区名や地域名による応援

- 校区名や町名などの地域名を呼んだ応援



地元校下（地域）での大会後の応援の取組み



大会後応援も「あり」はごく少数



地元校下（地域）での大会後の応援の内容 （自由記述より抜粋）

地域の方が、自宅に訪問してくださり、また、応援したいので、ぜひ、参加して下さいと、お声かけがあった。

手土産付きお礼の訪問。

慰労のメールをいただいた。

後日、撮影した写真とケーキをいただいた。

地域ランナーへホールケーキが贈られた。

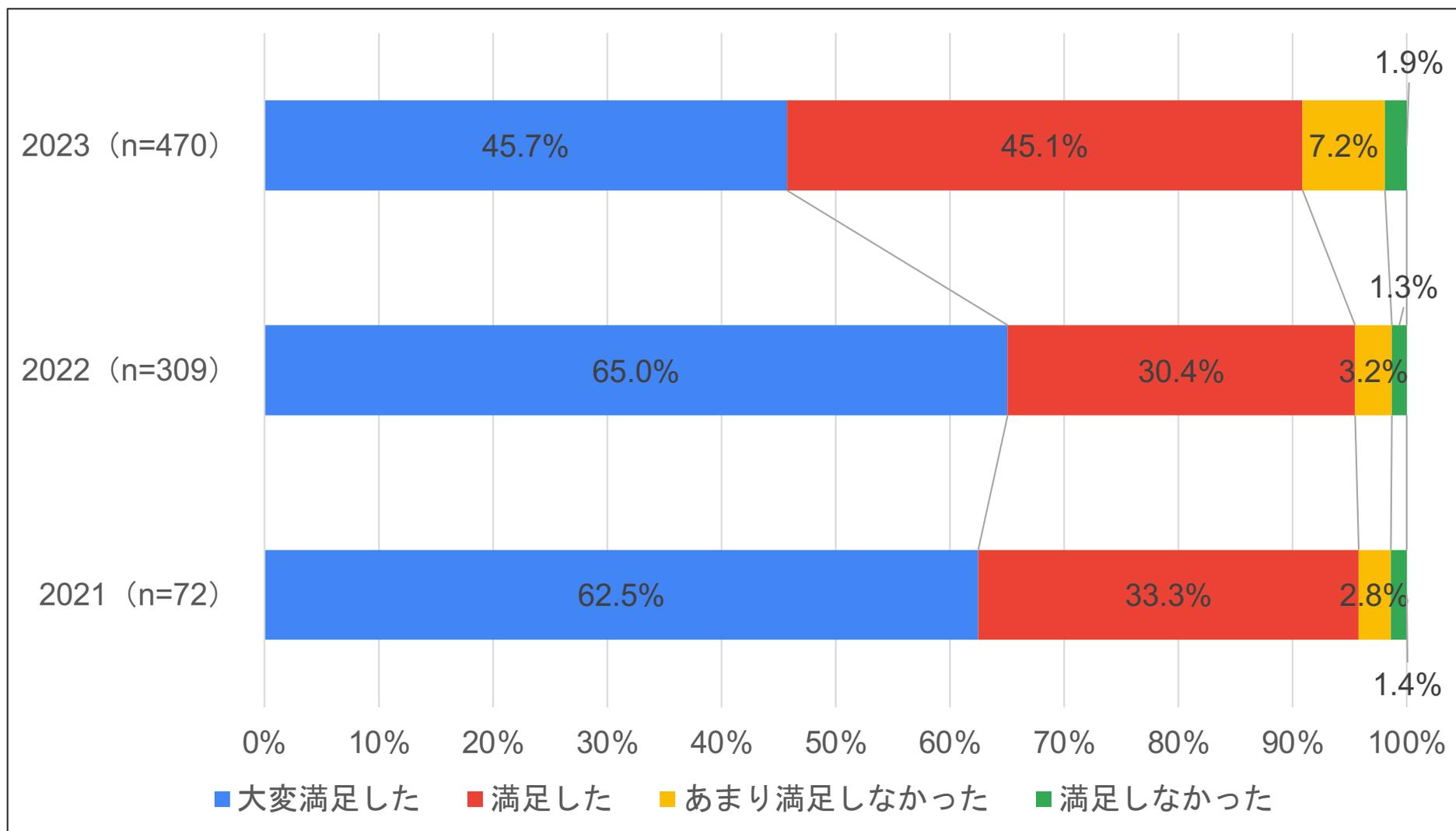
完走のお礼と気持ちと粗品をいただきました

地域団体のFacebookやグループLINEでタイムの紹介があった

個人的に、団地内の地域ランナー5名参加者で、慰労会



「地域ランナー」の大会参加満足度



90%を超える高い参加満足度、一方で不満足層が微増



「地域ランナー枠」出走ランナー大会満足度の理由 (自由記述より抜粋)

大変満足／満足

【文章要約】

地域の名前で沿道から応援を受け、その声援が力になり、完走することができたと感謝の気持ちを述べている。地域の一体感や応援の励ましを受けて、ランナーは元気をもらいながら走り、大会に参加できたことに感謝している。

【ダイジェスト】

- ・ 地域名で、応援された。
- ・ 地域名で応援してもらえたから。
- ・ 校下名で応援していただいた。

あまり満足しなかった／満足しなかった

【文章要約】

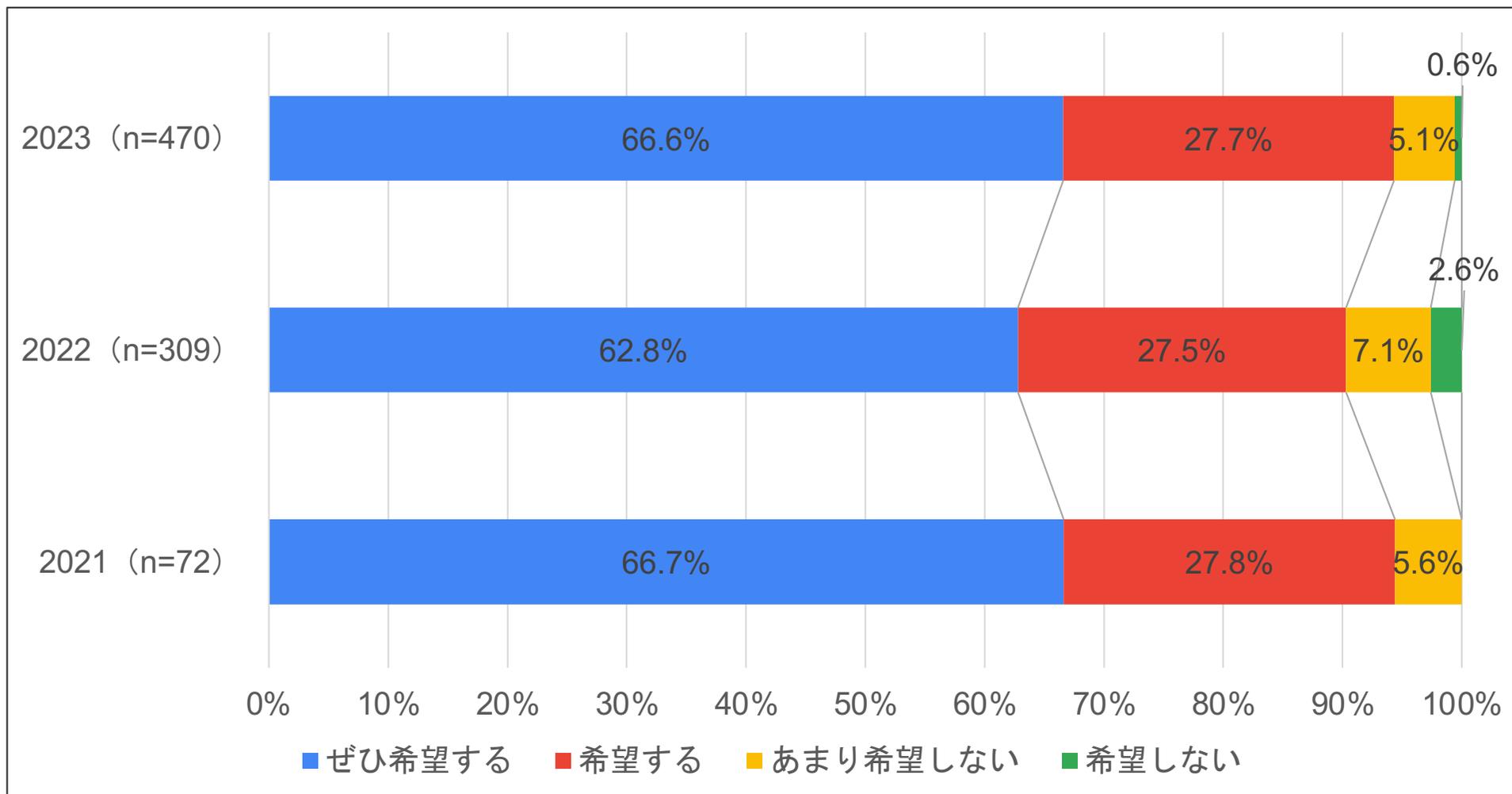
地域ランナー枠に参加したが、地域名が小さく書かれているため気付かれにくい。地域ランナー同士が互いのことを知らない状況で、特にメリットや応援もなかった。地域名と個人名が混同されることが多く、地域からの支援もなかった。地域ランナーの意味や取り組みが不明瞭で、一般参加との違いが感じられなかった。

【ダイジェスト】

- ・ 一般枠と特にやることが変わらない
- ・ 地元でも特に応援してもらえなかった
- ・ 地域ランナーの意味が分からなかった
- ・ 地域からの支援は全くなかったから。
- ・ 周知されていないように感じた。
- ・ 抽選確率を上げるために利用した。



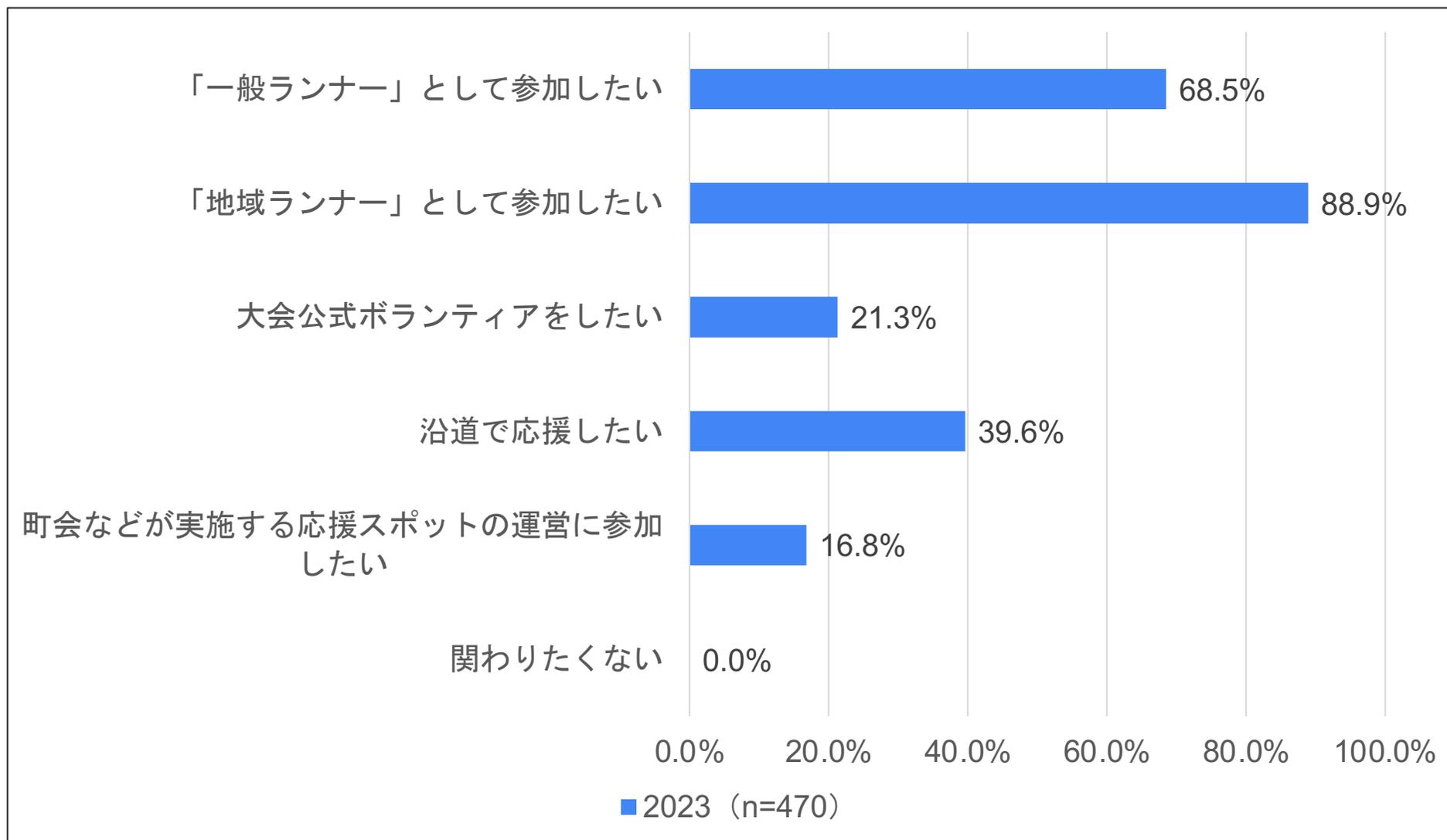
「地域ランナー」の「地域ランナー」としての再参加希望



94.3%が「地域ランナー」としての再参加を希望



「地域ランナー」の今後のKMへの関わり方の希望



大多数がランナーとして参加したいと考えている。



「地域ランナー枠」での大会参加全般を通じて気づいた点 (自由記述より抜粋)

【文章要約】

地域ランナーの存在は地域の応援を受けやすくし、地域の結束を高める効果があった。一方で、地域によって応援の差があるという意見もあった。また、地域ランナーのゼッケンのデザインや色分けなど、地域ランナーであることが一目で分かるような工夫が求められているという意見もあった。地域ランナー制度の認知度向上や、地域名の応援をもっと広める取り組みが望まれている。全体的には、地域ランナー制度は好評であり、継続してほしいという意見が多く寄せられていた。

【ダイジェスト】

- + 地域名で応援してくれるので励みになった！
個人に対して応援してもらえると、とても嬉しかったです。
地域名で応援してくれるのが嬉しかったです
何度も地区名で応援され、嬉しかった。
他にはないとても良い取り組みだと思います！
- 地域によって地域ランナーの応援に差があると感じた
ビブスを受け取るまで地域ランナー枠だと知らなかった。

提案 地域ランナーに特化した応援があっても良い
地域Tシャツなどがあっても良いと思います。

金沢マラソンの沿道応援

◆大会創設時から意図して設計された沿道応援の仕組み

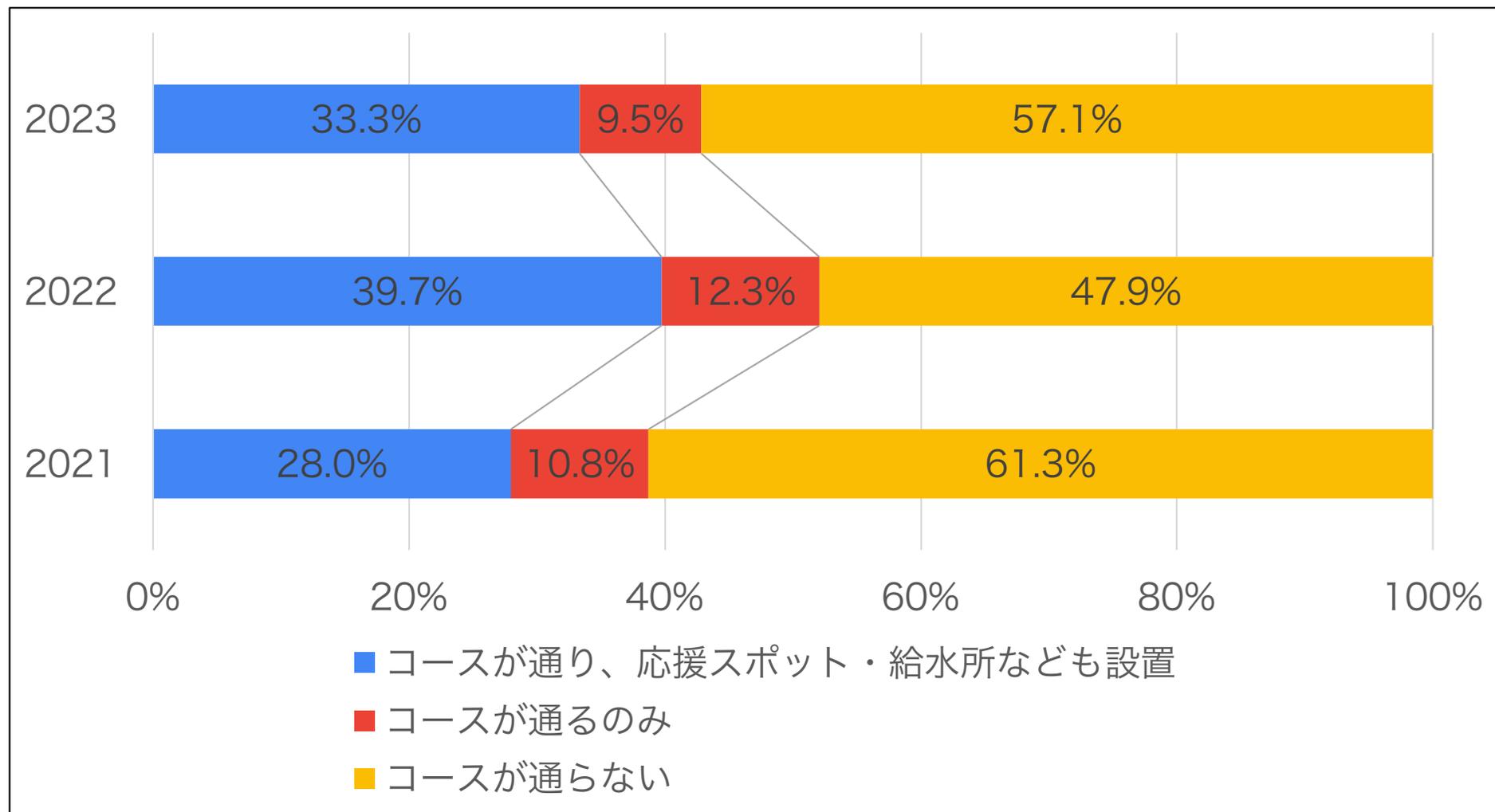
- ・「応援ステージ」
城北市民運動公園、フィニッシュ地点の**2か所**で演目実施
- ・「応援スポット」
コース内**20カ所**、地域の特色を生かした演目で応援

- ・ 町会連合会、公民館、婦人会からなる「金沢マラソン応援スポット実行委員会」が運営を担っている。
- ・ 市内の62町会連合会を16の応援スポットに割当てられる。実行委員会の統括町会連合会は輪番制が原則。



(各校下(地域)関係者)

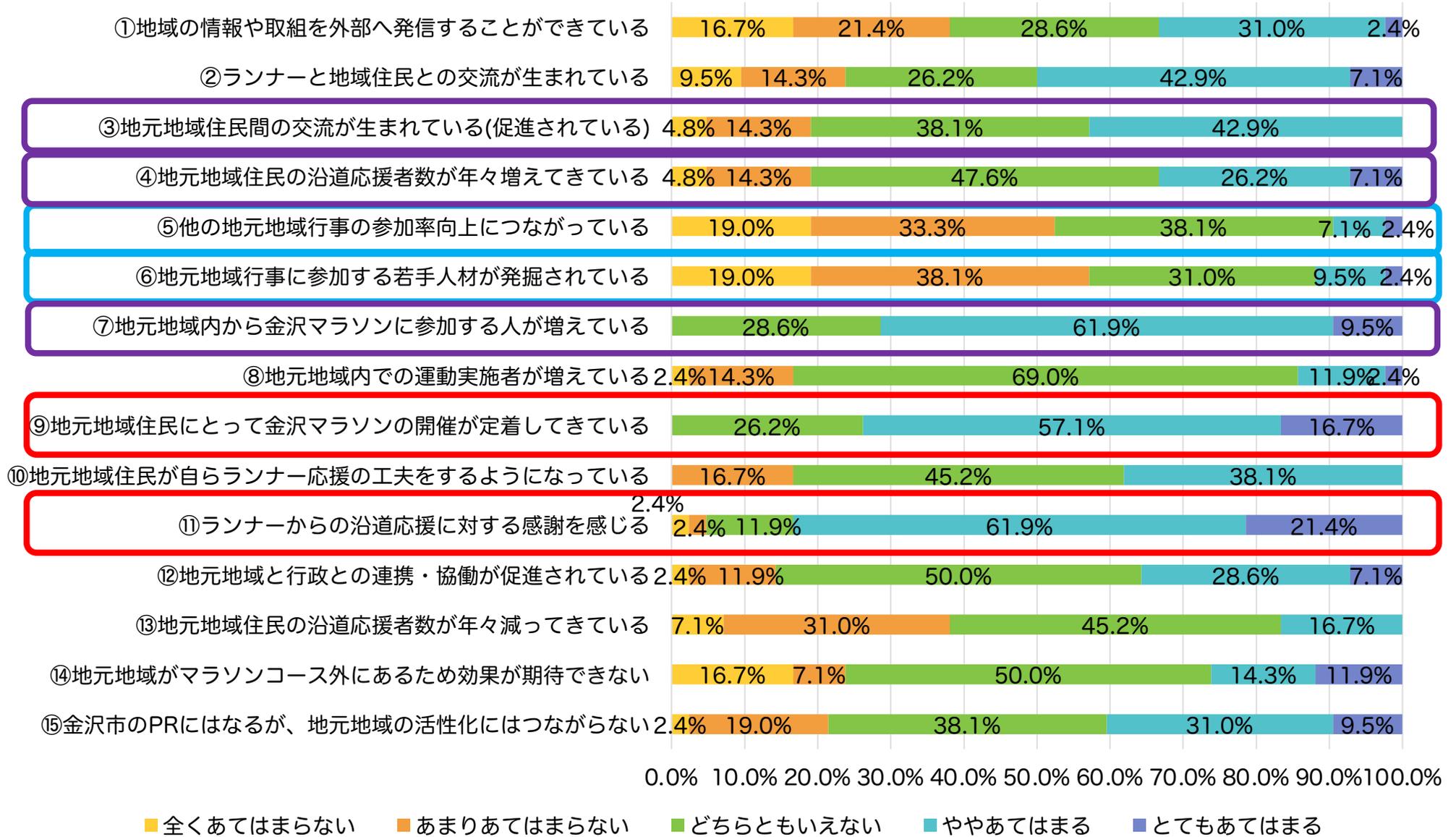
地元地域内を金沢マラソンのコースが通るか



6割近くは「コースが通らない」



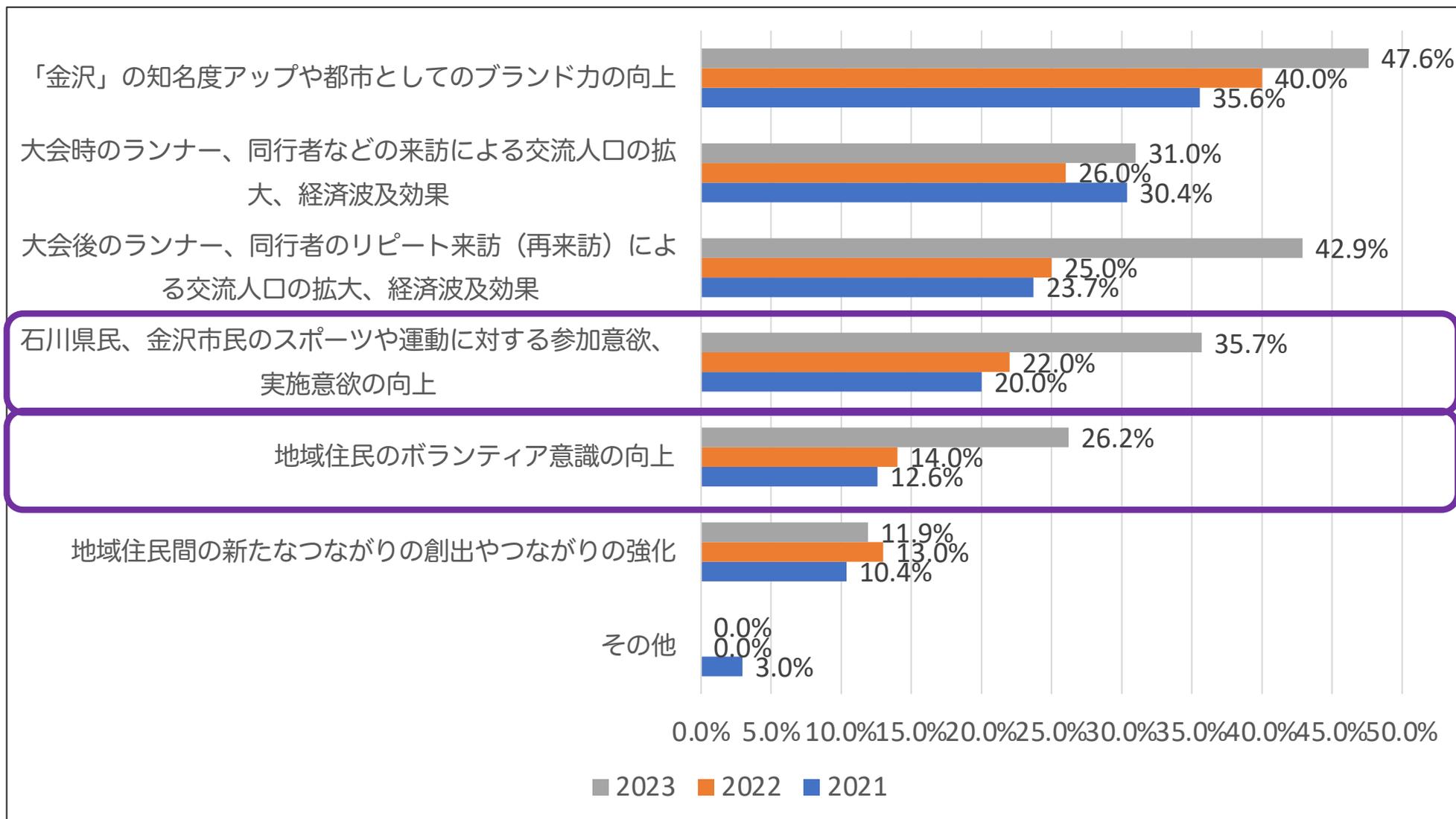
金沢マラソンによる効果や影響（各校下（地域）関係者，2023大会,n=42）



住民間の交流促進、沿道応援者数の増加、地元からの金沢マラソン参加者増の傾向
他の地域行事への参加率向上／若手人材の発掘は低調・・・



(各校下 (地域) 関係者) 今後の金沢マラソンに期待する効果

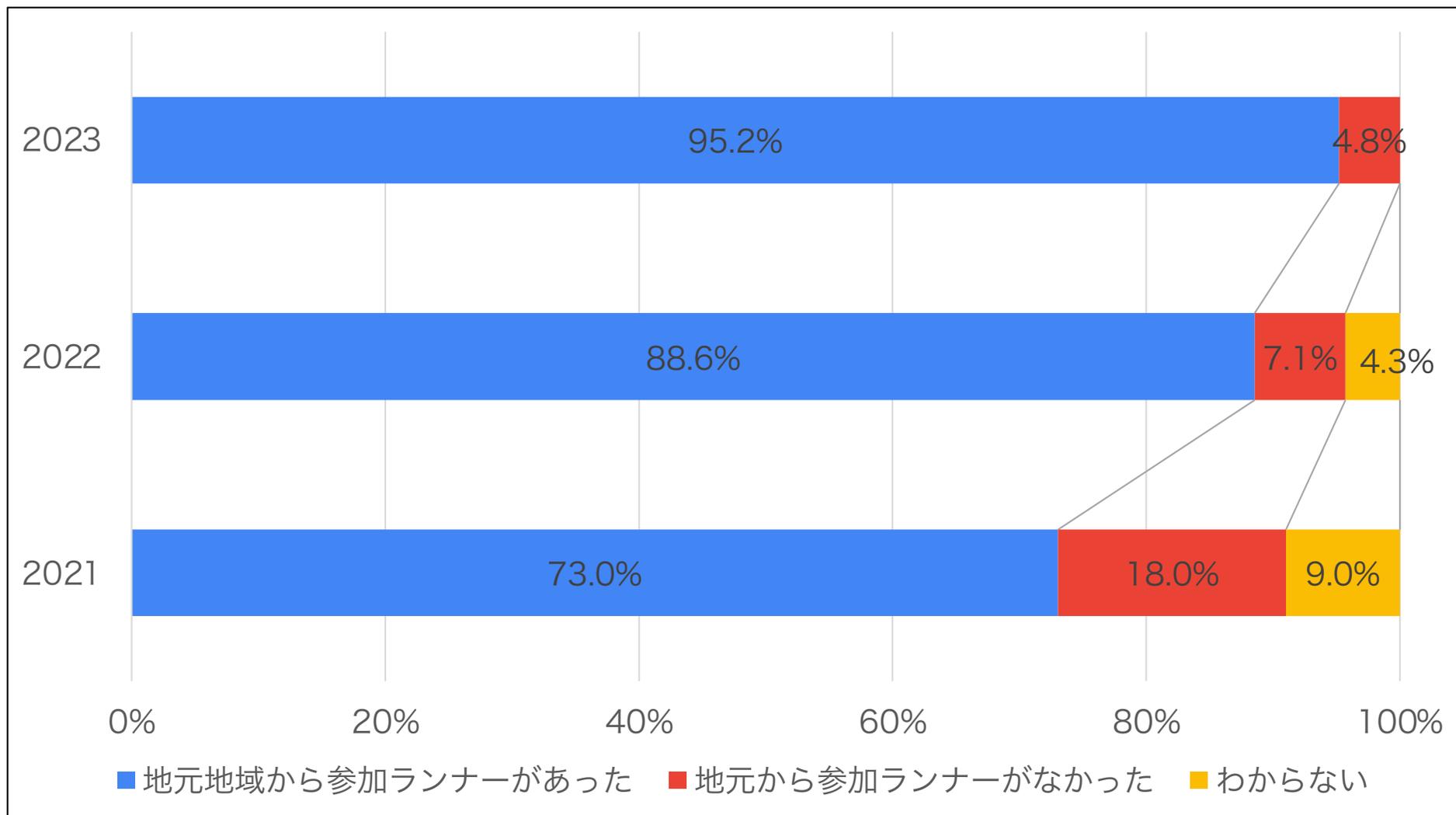


スポーツ・運動実施、ボランティア実施意欲の向上への期待



(各校下 (地域) 関係者)

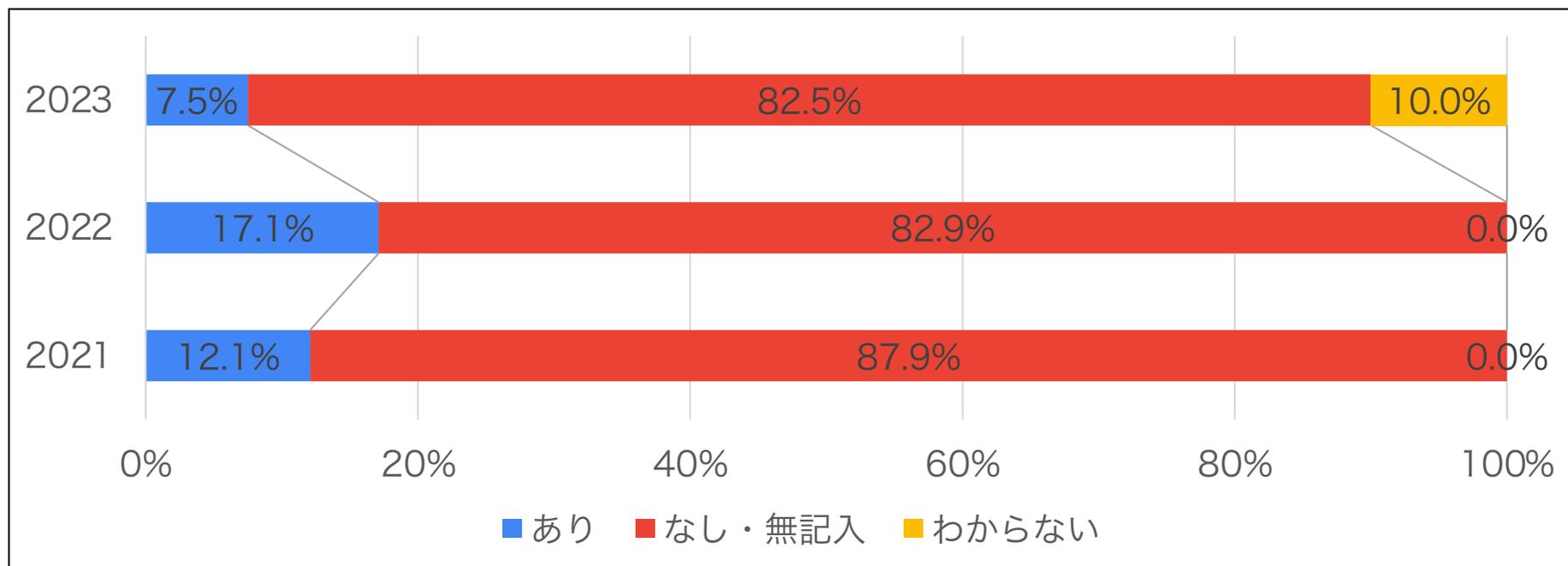
地元地域からの「地域ランナー」の有無についての認識



地域での「地域ランナー」への認知度合いは高まっている



(各校下(地域)関係者) 大会前の「地域ランナー」への応援取組



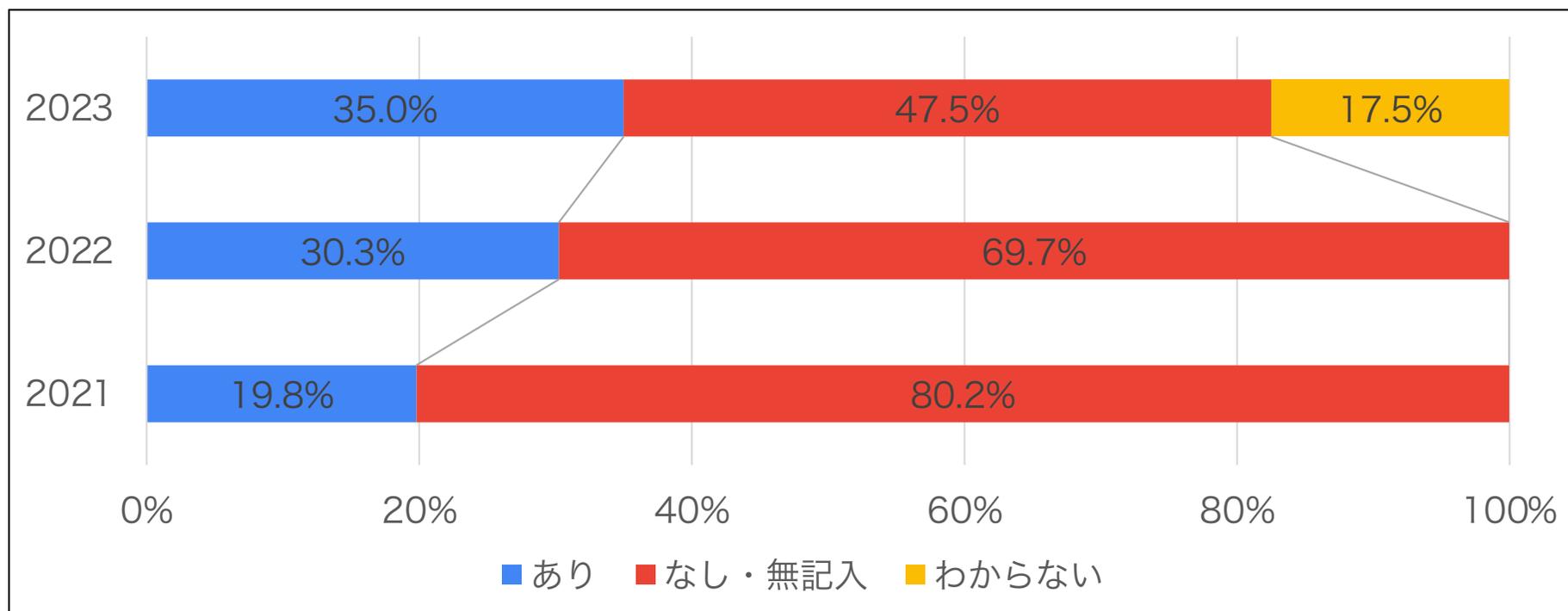
応援内容についての自由記述（抜粋）

大会前の応援取組の実施は少数派

- ・校下のマークを地域ランナーに付けて頂くようお願いした
- ・公民館キャラクターマークをつけて走ってもらい、地元のランナーとわかり応援できるようにした。
- ・ランナーに自分たちの応援スポットの場所を周知、校下から走る人を探して応援看板の作成



(各校下 (地域) 関係者)
大会当日の「地域ランナー」への応援取組



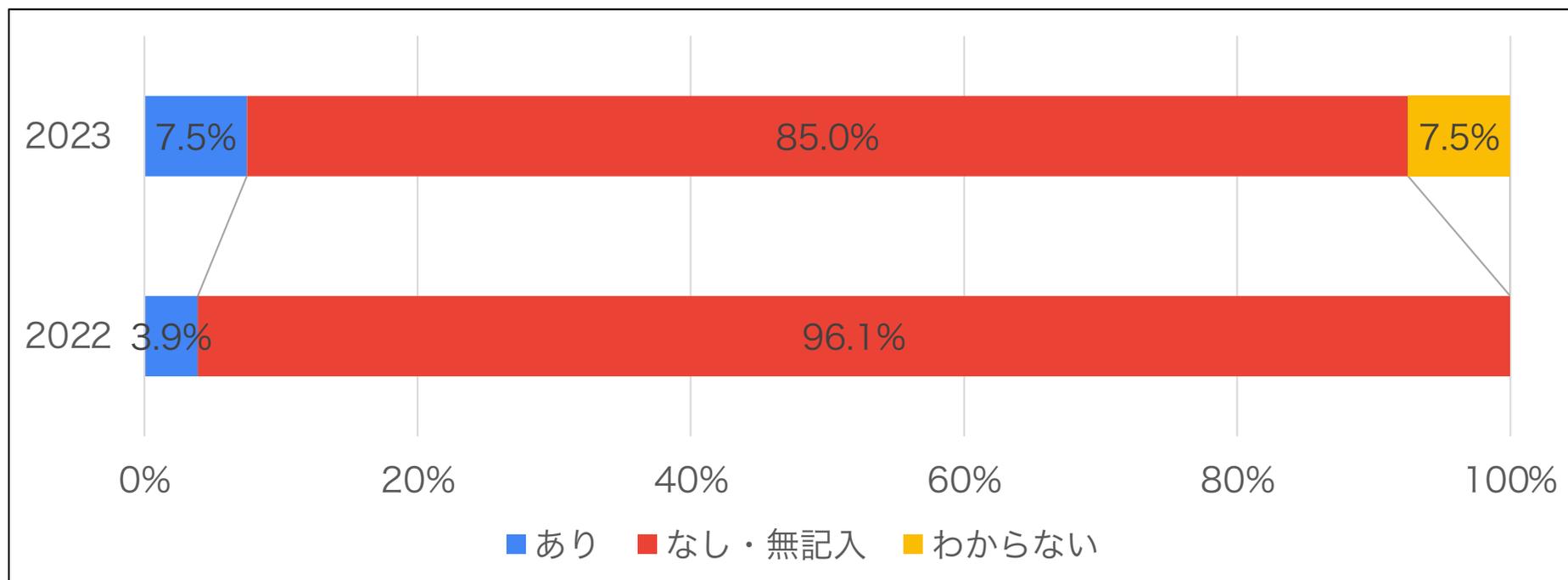
応援内容についての自由記述 (抜粋)

大会当日の応援「あり」は増加傾向

- ・メッセージボードに氏名を書き応援した
- ・位置情報の把握、見逃さないように応援/ゼッケンに注目し応援した
- ・吹奏楽部による演奏/児童クラブによる太鼓演奏
- ・各町会に回覧にて応援場所を事前周知し地区の旗を立て法被を着て応援グッズで応援
- ・応援旗等を作成・応援
- ・地元名プラカードを作成し、目立つようにした。



(各校下 (地域) 関係者)
大会後の「地域ランナー」への応援取組



応援内容についての自由記述 (抜粋)

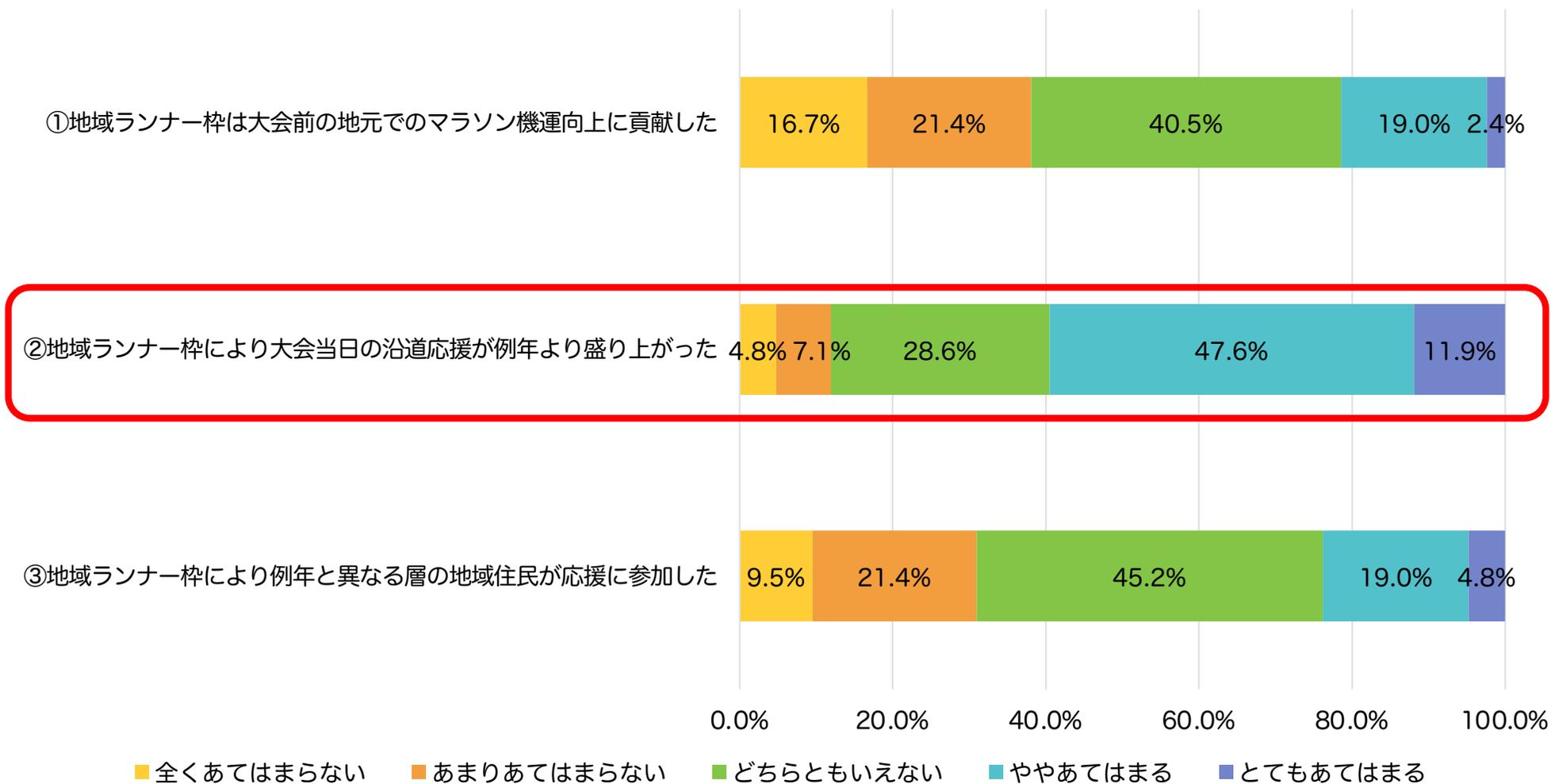
大会後の応援取組の実施は少数派

地域で製造されたお菓子を配布。

来年度も応援することを伝えた。



「地域ランナー枠」の効果（各校下（地域）関係者，2023大会,n=42）



大会前の機運向上 < 大会当日の沿道応援の盛り上がり



(各校下 (地域) 関係者)
今後の運営協力について【理由：自由記述より抜粋】

非常に前向き / 前向き	どちらともいえない / あまり前向きではない / 前向きではない
<ul style="list-style-type: none">・金沢マラソンは地域の一体感を高める恒例行事として定着している・ランナーと応援者が相互にエネルギーを共有し、大会を楽しんでいる・地域ランナーや市民からの積極的な参加や支援が大会の成功に繋がる・大会の運営や応援スポットの改善に関する意見やフィードバックが重要であり、次回の大会に向けて検討されるべきである・公民館や地元コミュニティの協力が大会の成功に不可欠であり、そのサポートを確保することが重要である・金沢マラソンは金沢市を代表する重要なイベントであり、地域の文化と誇りを象徴している・事前の情報提供や打合せ、実施説明が大会の円滑な運営に貢献している・大会が地域のつながりや活性化に寄与しており、地域の盛り上げに寄与している	<ul style="list-style-type: none">・参加者増により給水スポットなどで地元負担が増えている。・応援スポットの運営が地域負担であり、負担感がある。・運営協力や当番館などの拘束時間が長く、負担が大きい。・少子高齢化による人材不足が問題となっている。・応援スポットの運営がマンネリ化しており、新たな展開を求める声がある。・地域の忙しい時期に開催されるため、応援スポットの運営は負担である。・コース変更により応援スポットが住宅地から離れ、沿道応援がほとんど無い状況。

まとめ・考察

【リサーチクエッション（検討課題）への回答】

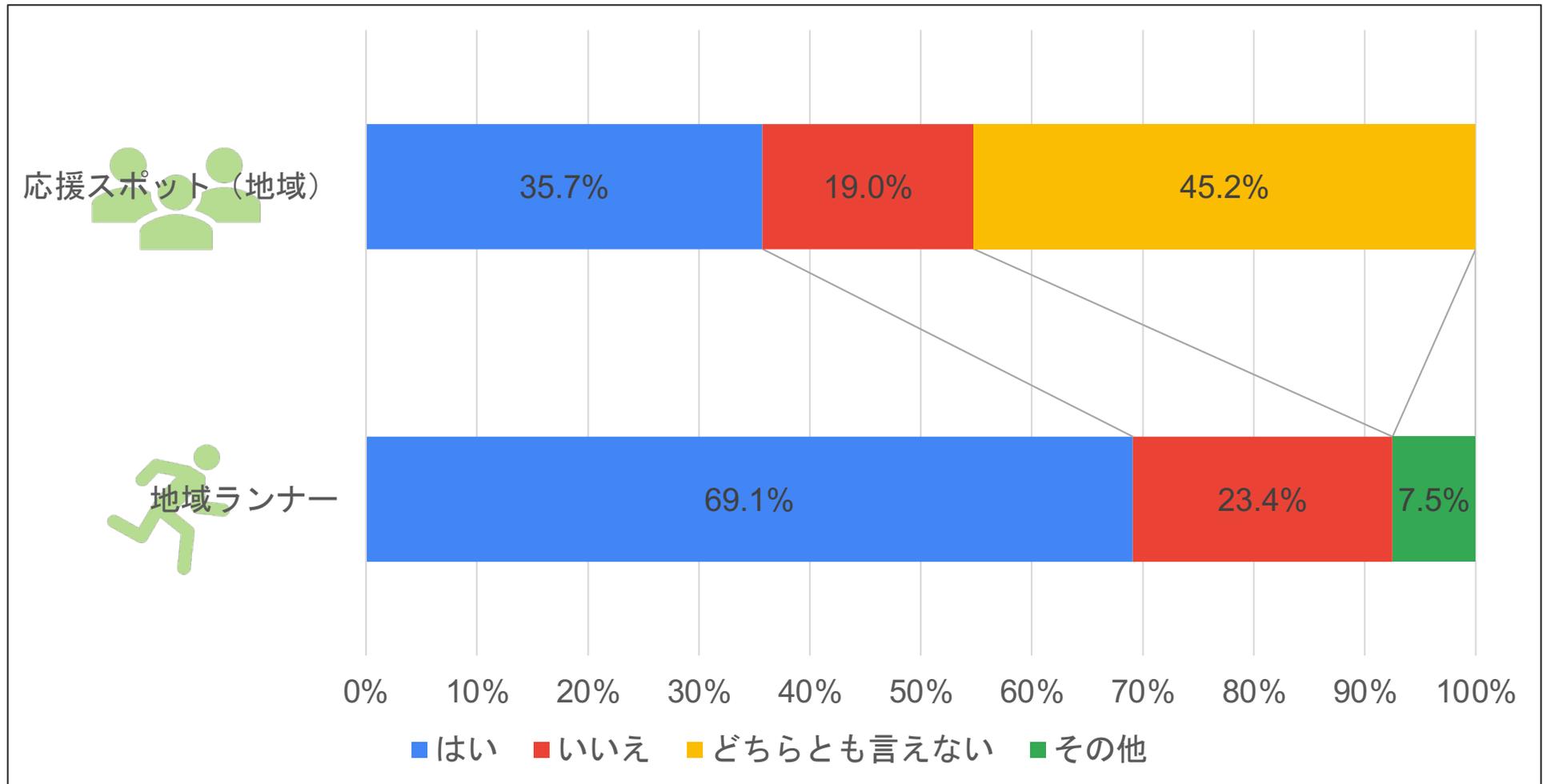
- 1) どんな人が「地域ランナー」として走ったのか？
 - > 「どの枠でも良いので大会参加したい」層が多数派ではあるが、「地元地域を代表して走ってみたい」層が増加傾向にある。
 - > 大会ボランティア、応援スポット運営経験者は少数派だった。

- 2) 「地域ランナー」として参加したランナーはどのような感想を抱いたのか？
 - > 90%を超える高い参加満足度があった一方で、不満足層が微増した。
 - > 94.3%が「地域ランナー」としての再参加を希望している。
 - > 地区名入りナンバーカードを誇らしく感じていた。
 - > 地元を代表している意識を生み、地元への愛着を深めていた。
 - > 今後の地域行事への参加意欲を高めていた。
 - > 地域からの応援・反響が少なく（全くなく）寂しさを覚えている声もあった。

- 3) 各校下（地区）は「地域ランナー」をどのように受け止めたのか？
 - > 地域での「地域ランナー」への認知度合いは年々高まってきている
 - > 地域ランナーは大会当日の沿道応援の盛り上がり貢献
 - > 大会当日の応援取組は増加傾向であるが、事前・事後の応援取組はごく少数

【新規の視点①】

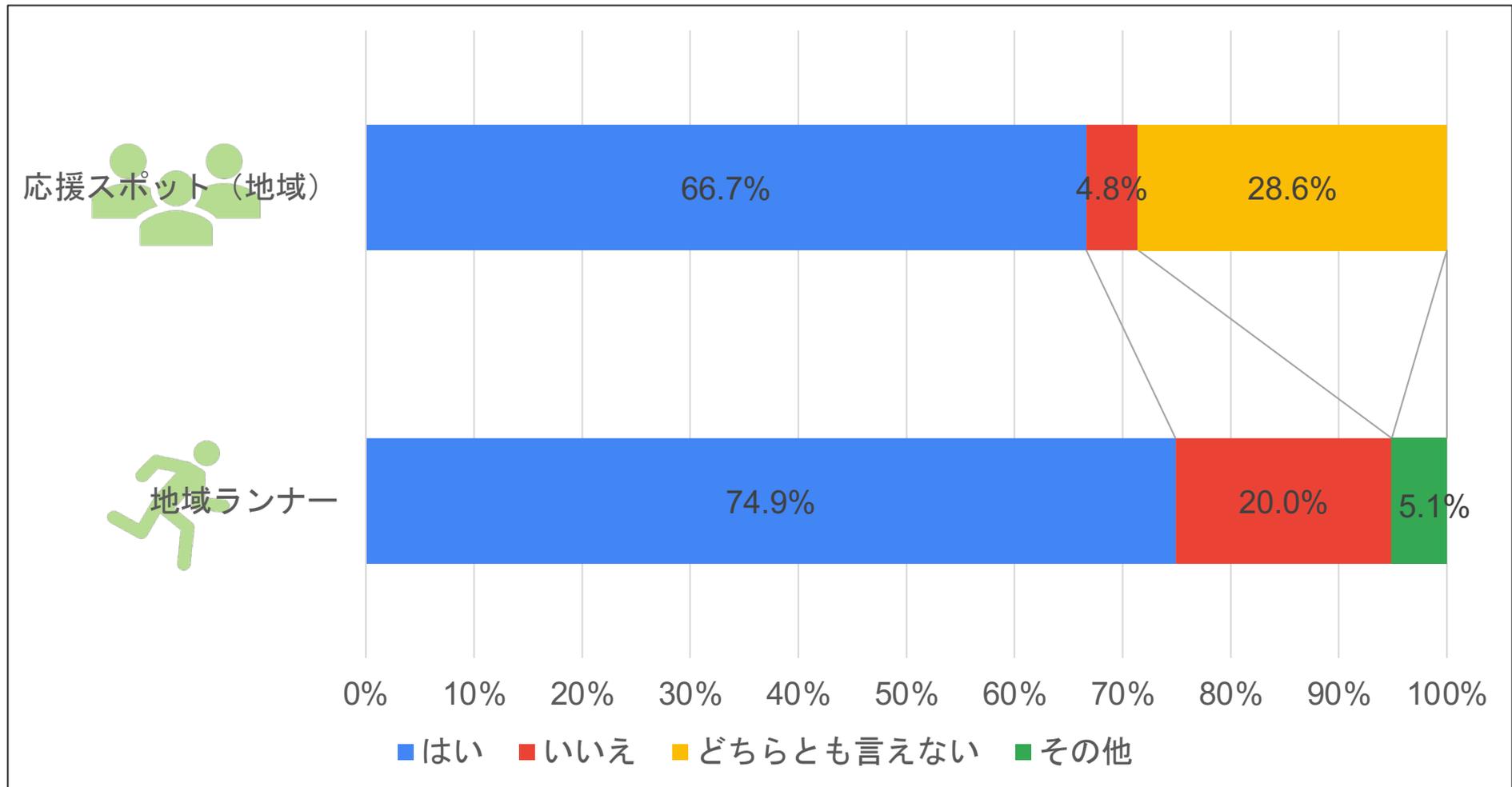
KM2024に出走しない場合、「地域ランナー経験者」として応援スポット運営に協力したい（ランナー）／して欲しい（地域）か？



地域ランナーが積極的なものに対して、地域側はやや消極的？

【新規の視点②】

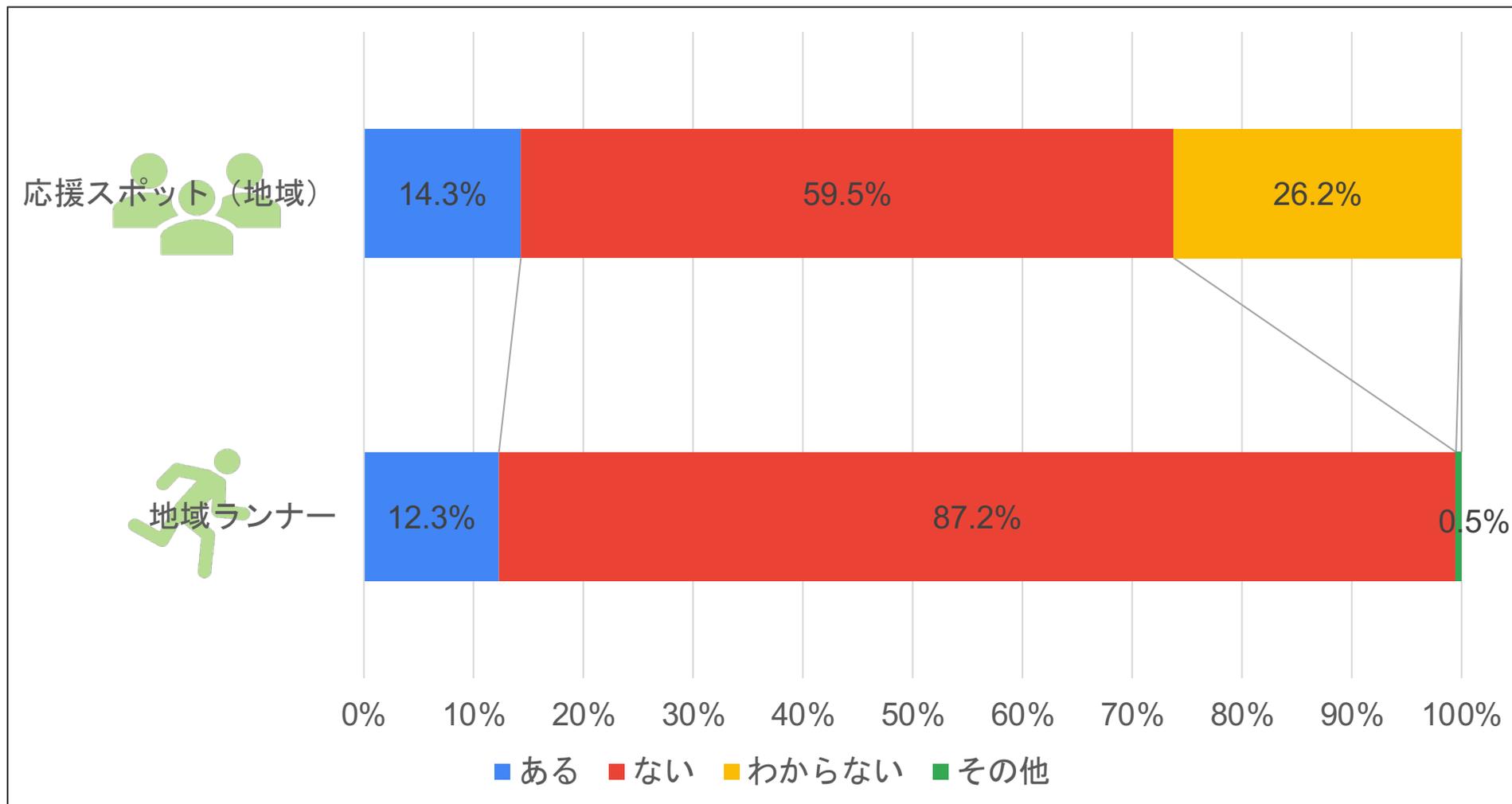
「地域ランナー経験者」として地元の行事に
協力・参加したい（ランナー） / して欲しい（地域）か？



地域ランナー／地域ともに前向きな傾向が高い。

【新規の視点③】

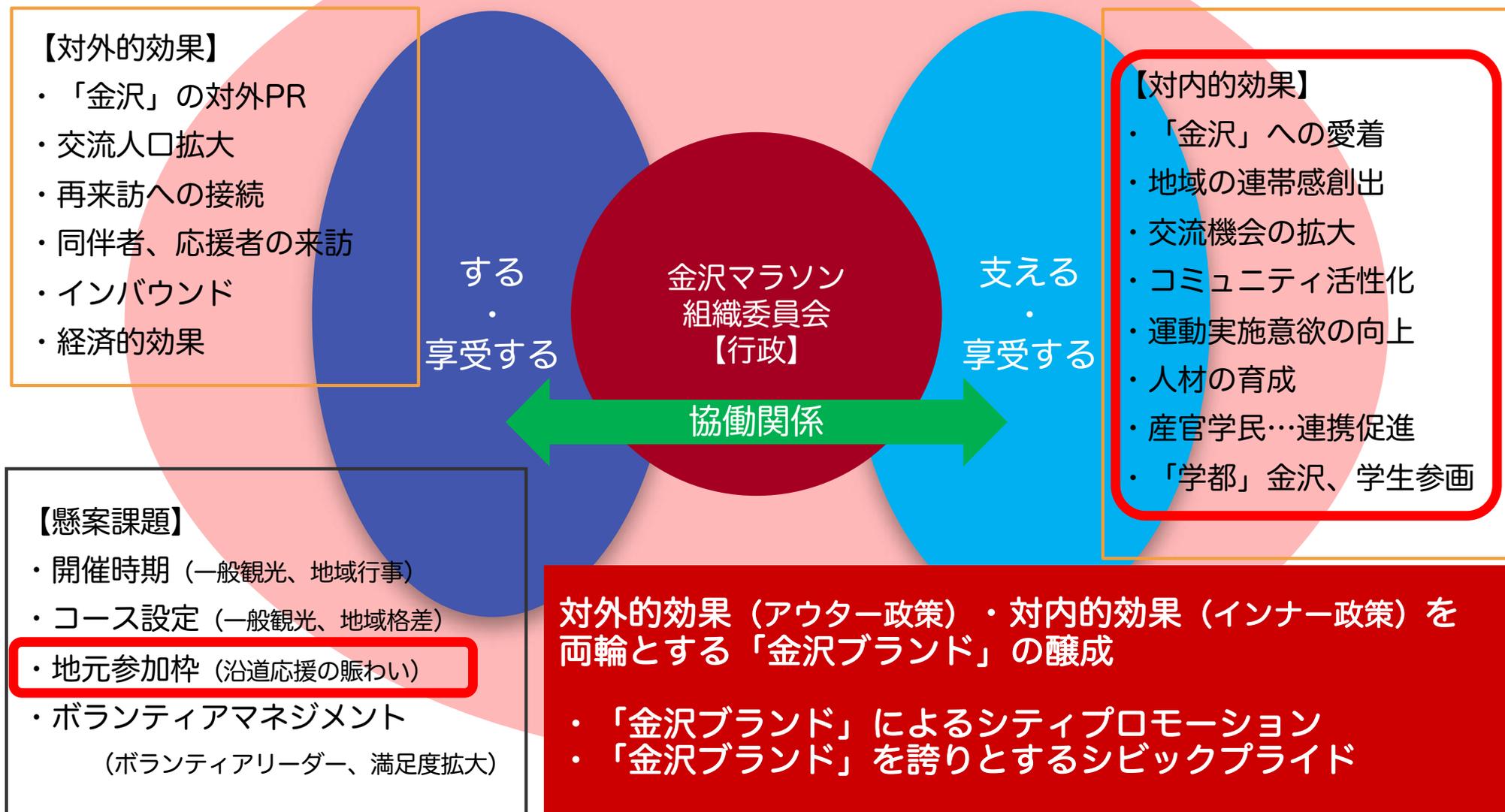
「地域ランナー経験者」として地元の行事への参加・協力依頼を受けたこと（ランナー） / したこと（地域）があるか？



実際のアクションにはつながっていない（遠慮がある？）

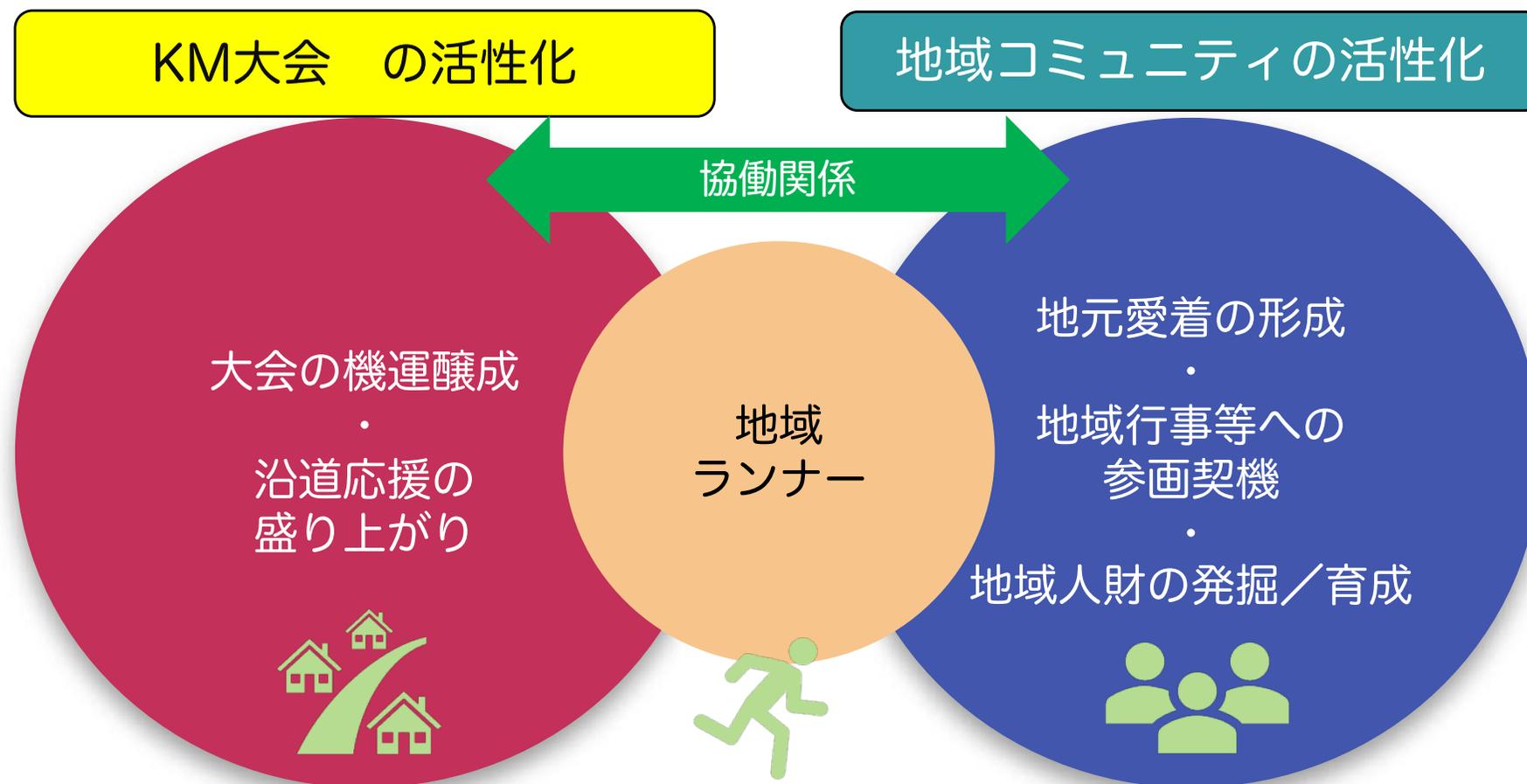
【目指すべき金沢マラソンのあり方】

【スポーツ（マラソン）による協働のまちづくりの推進】



提言（2023年度調査結果をふまえて）

【地域ランナーによる協働のまちづくりの推進】



【実践的課題】

- 1) 地域ランナーのコンセプトの明確化とその共有
- 2) 地域人財としての「地域ランナー経験者」活用策の検討
- 3) コミュニティ・オブ・プラクティス（実践コミュニティ）の形成



調査にご協力いただいた皆様に
厚く御礼申し上げます。

金沢星稜大学
(金沢マラソン検証研究グループ)

西村 貴之

參考資料

(背景) KM2021より「地域ランナー枠」を新設

【目的】 ※実行委員会資料より抜粋

コース沿道及び沿道外の町会連合会等における応援の機運の向上を図るため、地域コミュニティを代表して出場するランナーの優先出場枠を新設。地域の活力や一体感の醸成及びスポーツ交流を通じたまちづくりを促進。

組織委、地元密着で盛り上げ



全国初 地域ランナー枠

金沢マラソン

10月31日に開催される第7回金沢マラソンの組織委員会は、4日、地域ランナー枠を新設する方針を固めた。金沢市内にある62地区の町会連合会のエリアごとに、世帯数に応じて1〜8人の出場枠を与える。全国の主要大会では初めての試みで、地元密着をアピールして市全体で大会を盛り上げる。

出場枠は計180人と定まる。申し込みは7月16〜23日にインターネットで受け付ける。出場枠を願った場合は、組織委が地区ごとに抽選し、同31日に本人に通知する。参加料は通常枠と同じ1万6千円。

金沢マラソンは大勢の市民による迫道での応援が魅力の一つ。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、計21カ所の応援スポットと応援ステーションに絞り、その他の沿道応援は自粛を要請している。このため、大会に対する市民の注目度が下が

各町会連合会の出場枠は基本の1人を配分した上で、町会加入世帯が1千世帯を超えらるごとに1人を追加する。市内最多の約7240世帯が暮らす大徳地区は8人、町会加入が条件で

市内62地区から180人



2021年6月5日 北國新聞 (朝刊)

「地元を勇気づけたい」

地域ランナー 102人決まる



金沢マラソン 新設枠

10月31日に開催される第7回金沢マラソンで、新設された地域ランナー枠に102人の出場が決まった。各地区の世帯数に応じて出場枠を与える。全国の主要マラソン大会で初の試みとなる。12日までに参加が決定した市民ランナーからは「地元を勇気づける走りをしたい」と喜びの声が聞かれた。

地域ランナーは、町会連合会のエリアごとに1人以上の枠が設けられ、参加するには町会に加入していることが条件となる。7月16〜23日に募集したところ、143人の応募があった。各町会連合会のエリアごとに抽選などを行った結果、102人の参加が決まった。

地域ランナー枠の参加者は、地域名が入ったナンバーカードを着けて出場する。伏見台校下に住む会社員池田孝之さん(57)は「横川2丁目」は「スタートから10分ほどで校下の近くを通る。地域の皆さんに恥ずかしくない走りを見せたい」と意気込みを語った。池田さんは、新型コロナウイルスの影響

で中止となった前回は除く過去5回全てに出場しており、「今年はお返しに地元を勇気づけたい」と決まると話した。池田さんは、北國新聞記者の取材に応じて、このように話した。

最初の出場に外れただけに、地域ランナーとして奮闘を続けられるのほっとしている」と愛顔を見せた。森本地区の会社員房本江美千代さん(47)は「朝のランニングで『頑張ってる』と地元の人に声を掛けてもらっている。感謝の気持ちをかみしめて走りたい」と当日を心待ちにしている。

金沢マラソンは10月31日の本大会に加え、9月10日・10月10日にオンライン大会が行われる。オンライン大会はフル(42・195キロ)、ハーフ(21・0975キロ)、ファミリーラン(10キロ)、ラマラン(100キロ)の4種別が設けられている。

組織委は、市、北國新聞記者らで構成する。

2021年8月13日 北國新聞 (朝刊)

(背景) KM2022 地域ランナー枠の定員拡大



提言（2022年度調査結果から）

1) 「地域ランナー枠」のコンセプトの明確化

- △ 地域の功労者であることを理由に選出されたランナー
- 金沢マラソン参加を契機に地域との関係を深めていくランナー

2) 各町会での事前PR（広報）戦略

- ・ 地域ランナーの地域内での周知を通じて大会の機運醸成につなげる。
- ・ 同時に地域ランナー自身が地域ランナーとしての自覚を高めることになる。
- ・ 社会体育大会等既存行事での壮行会・選手紹介等が人材の発掘につながる。

3) 各町会での事後（出口）戦略

- ・ 地域ランナー枠での出走ランナーが大会後に地域行事に参加しやすくなるような声かけ、運営の工夫を図ることで人材発掘・活用につなげる。
- ・ 地域ランナー経験者に応援スポットの実行委員会にオブザーバー、アドバイザーとして参画してもらう。
- ・ 地域ランナー間の交流機会（練習会）をつくることで関わりやすさが増す。新たなランニング希望者を募るような地域イベントが生まれる可能性。

4) 各町会間での「地域ランナー枠」活用策のアイデア共有

- ・ 各町会での地域ランナー枠を活用した取組み状況の共有や情報交換会を開催する。（案「金沢マラソンによる地域コミュニティ活性化フォーラム」）

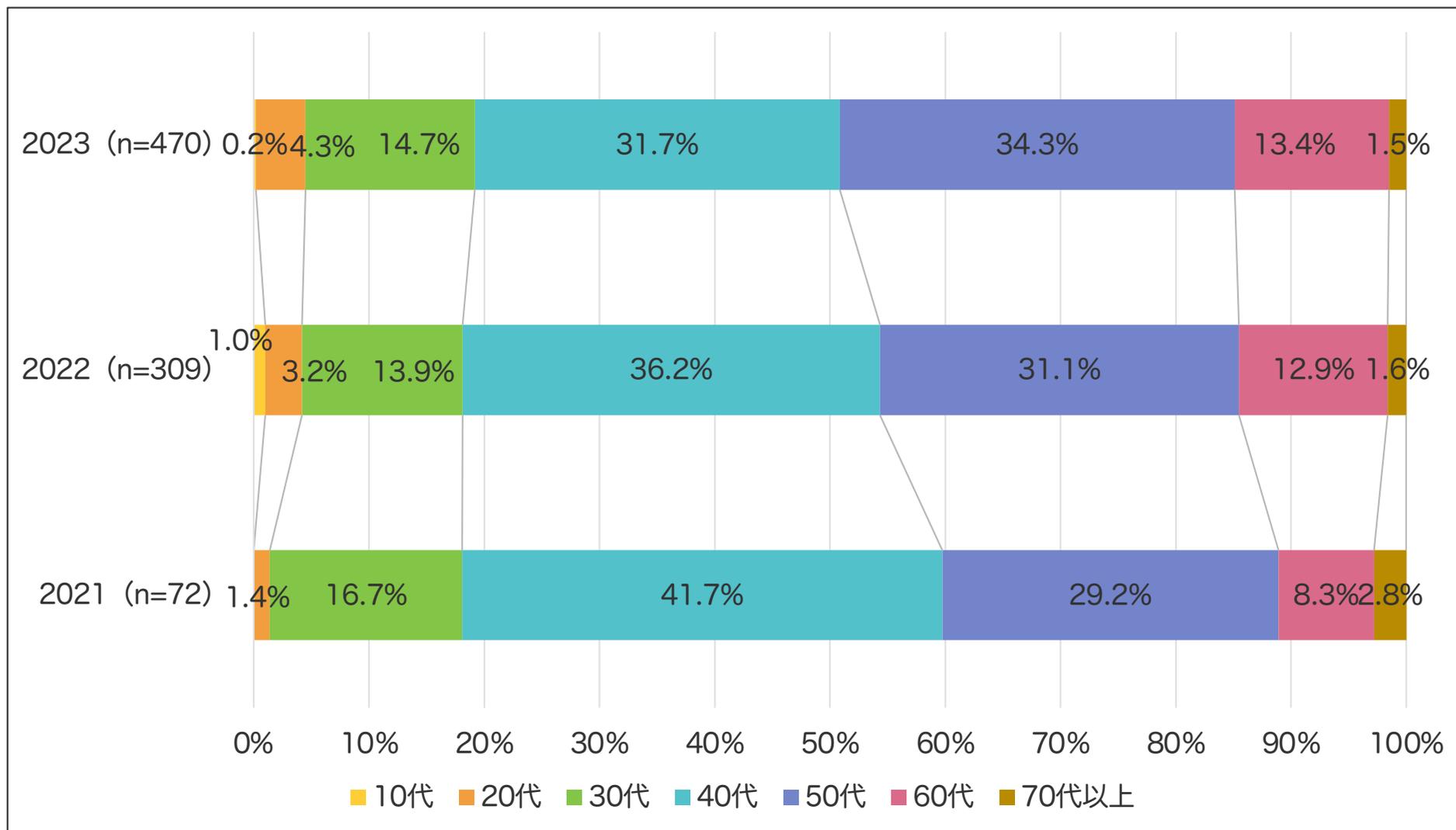


地域ランナーの回答

(過年度データを含む)



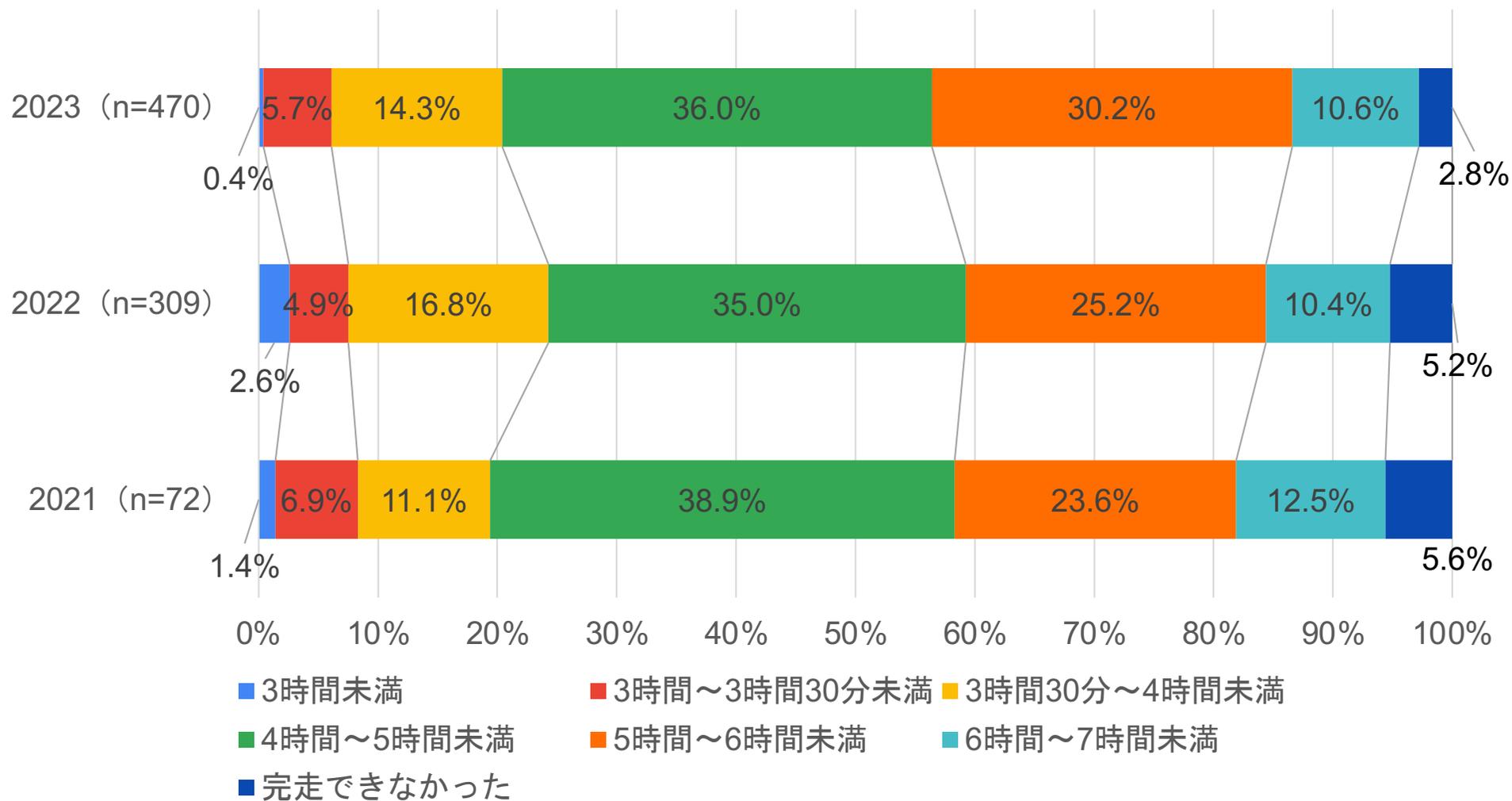
「地域ランナー」の年代



40代、50代がボリュームゾーン



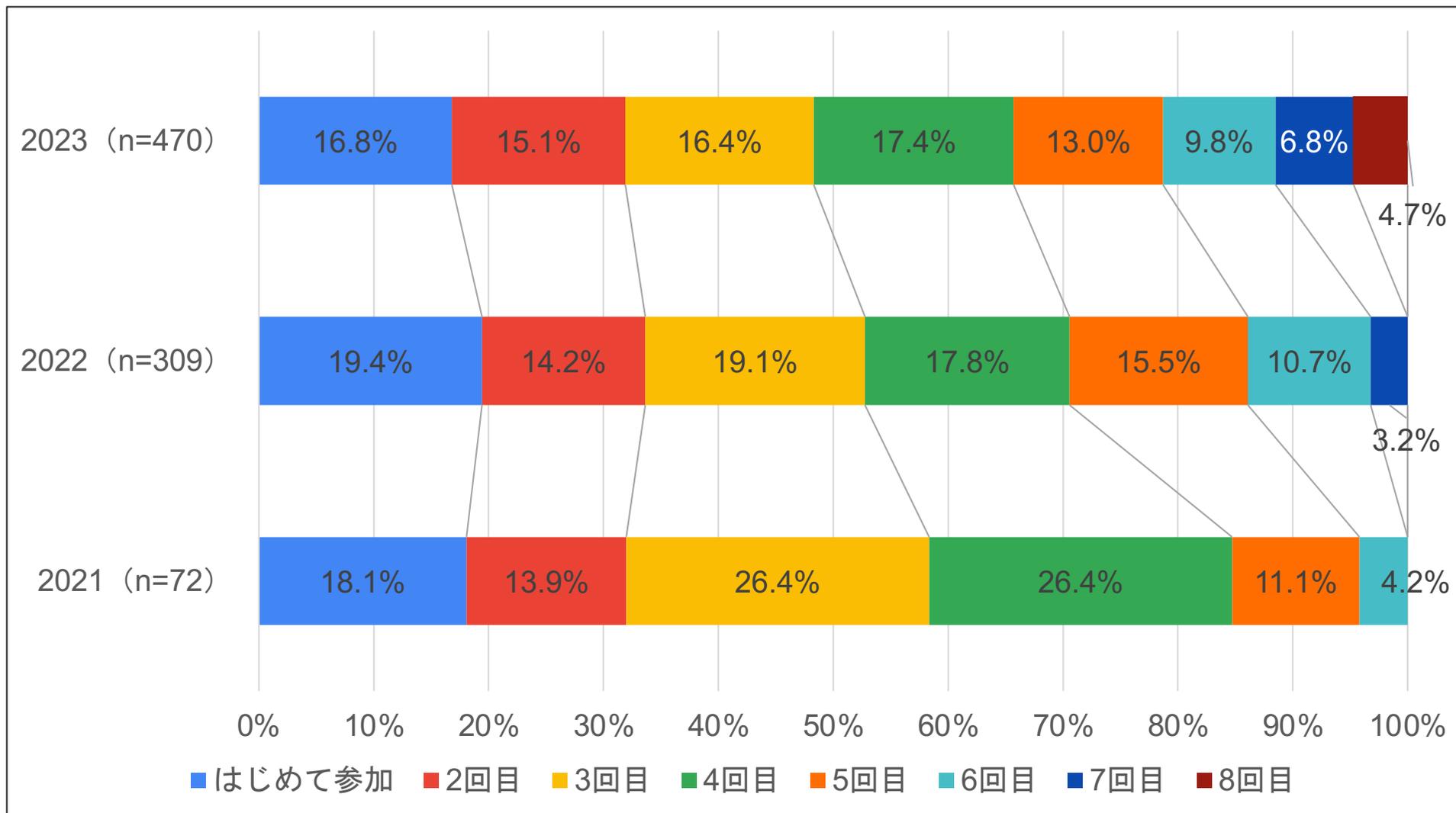
「地域ランナー」の成績（タイム）



完走タイム4時間～6時間（初中級レベル）がボリュームゾーン



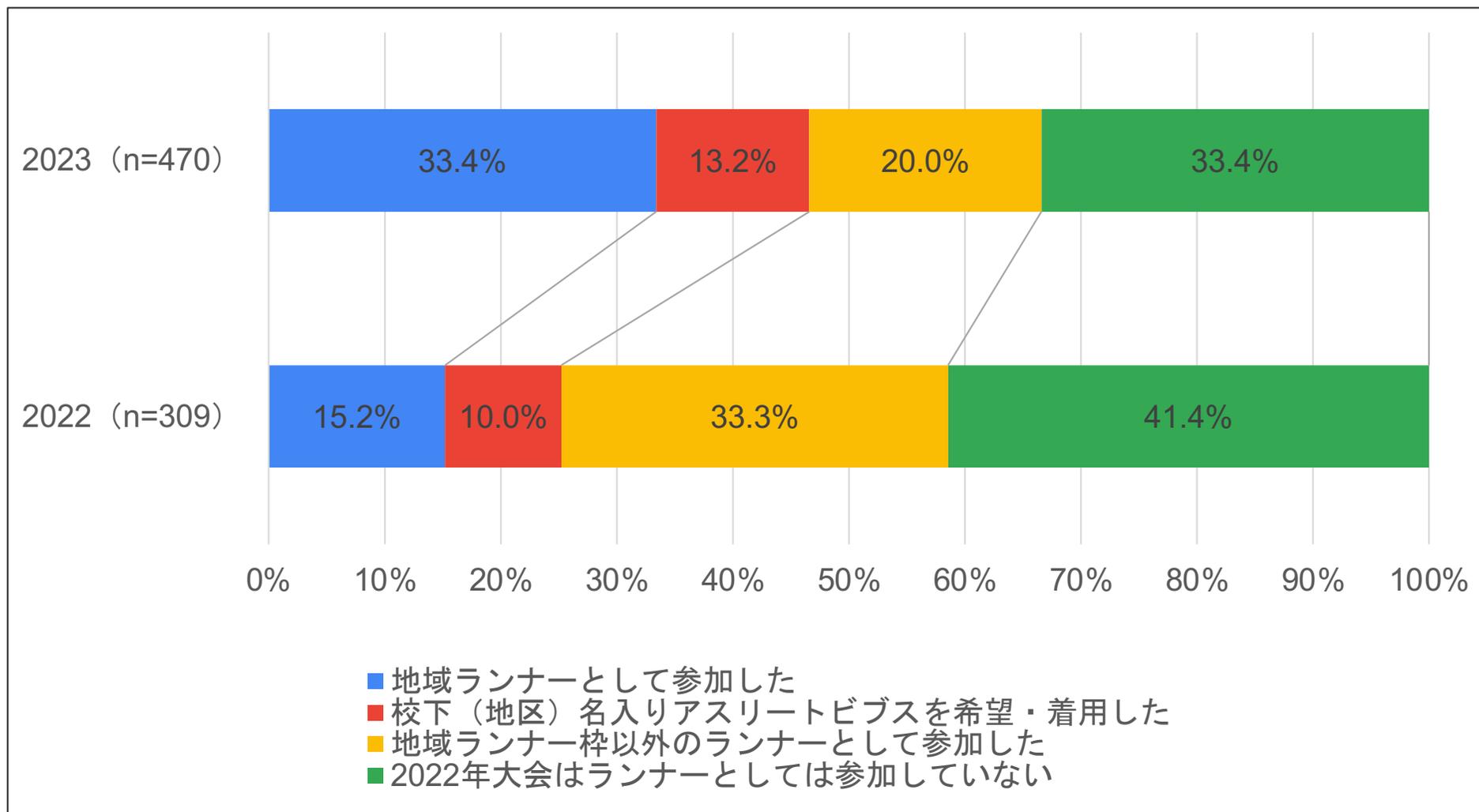
「地域ランナー」のKM参加歴（ランナーとして）



初参加ランナー16.8%、83.2%以上がリピート参加者



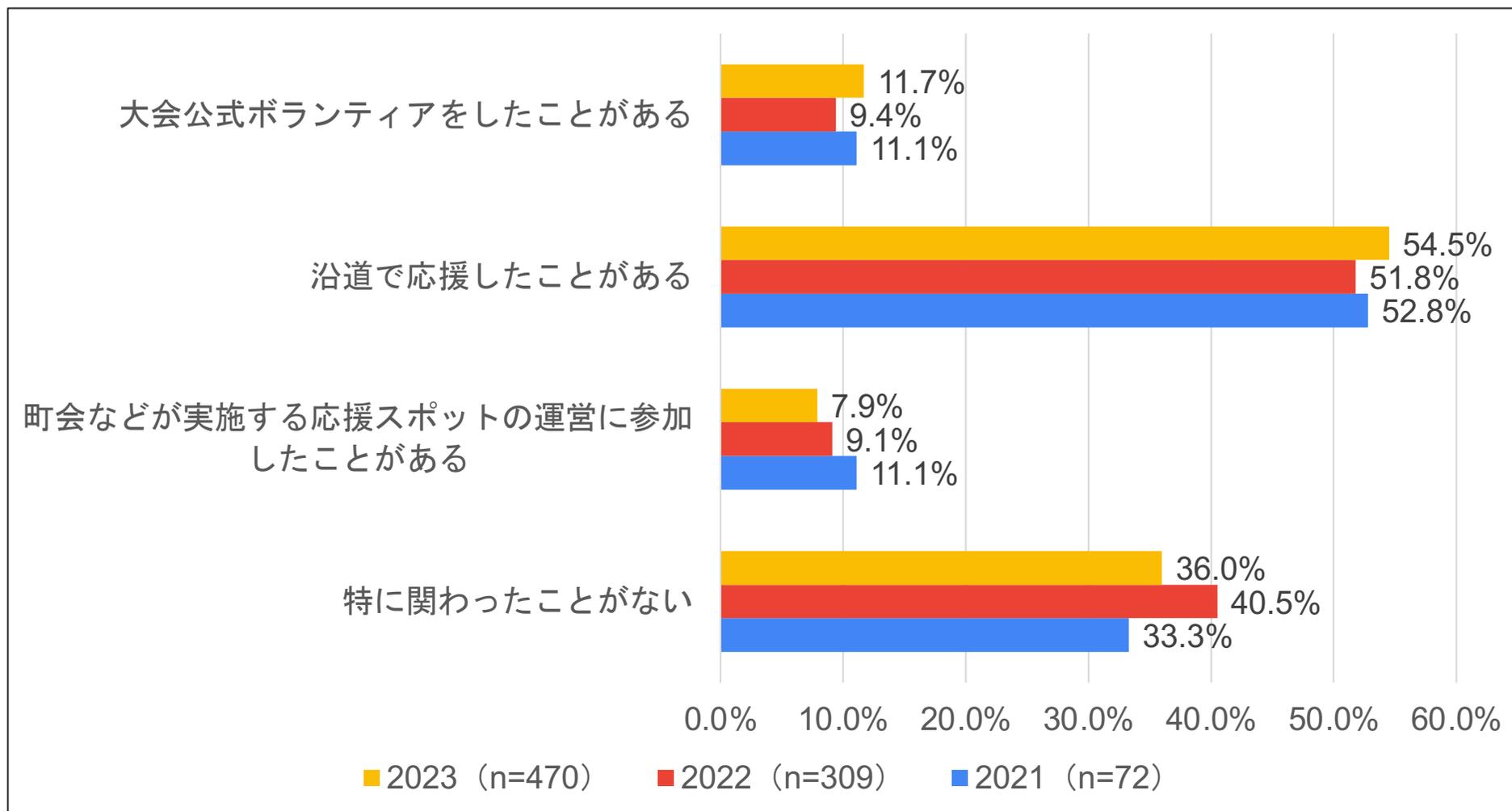
「地域ランナー」の前年度大会への参加



66.6%が2022大会からの連続参加者
46.6%が地域ランナーとしてリピート参加



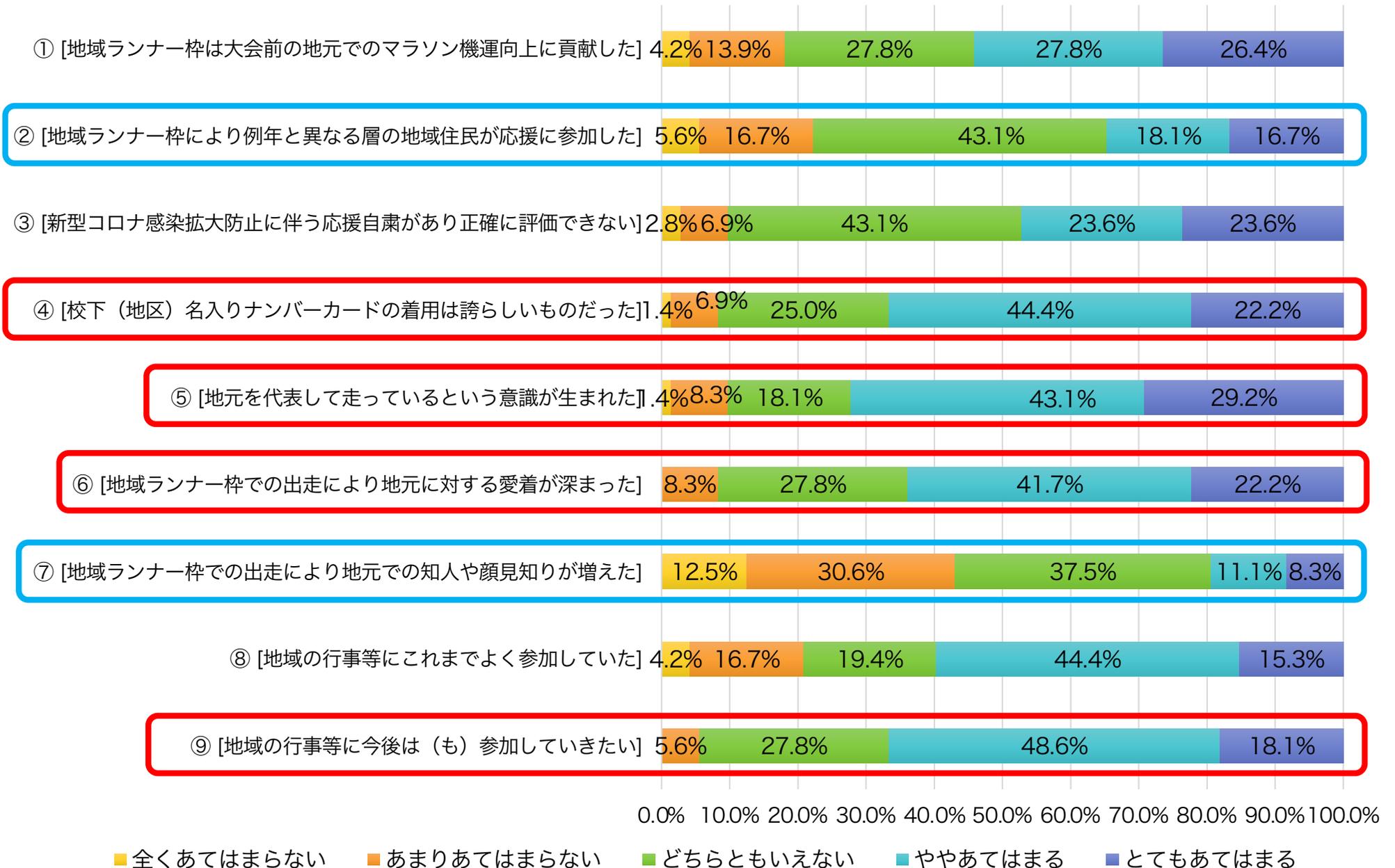
「地域ランナー」のこれまでのKMへの 「ランナー以外での」関わり



ボランティア、応援スポット運営経験者は少数派

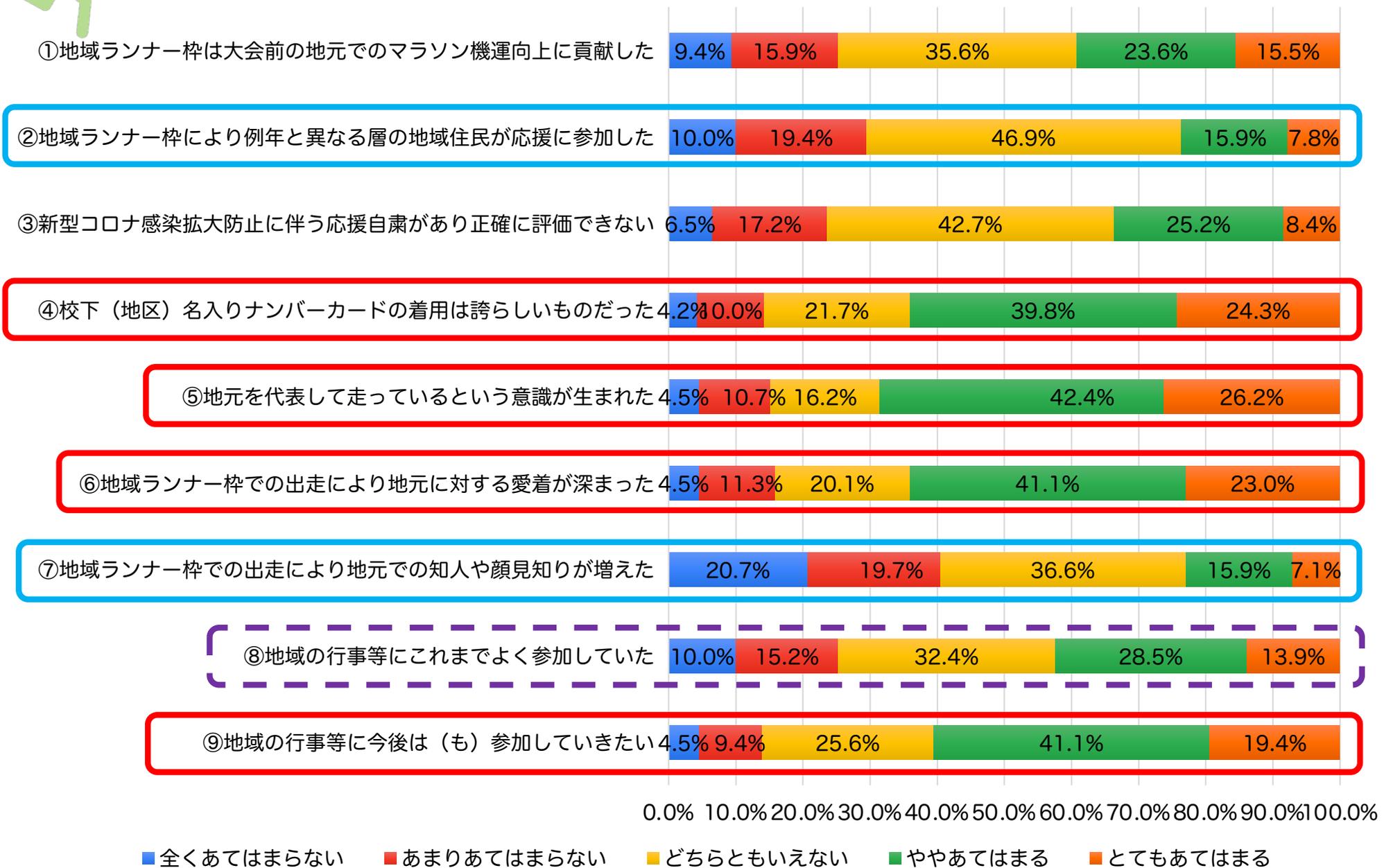


地域ランナー枠の効果等 (2021大会,n=72)





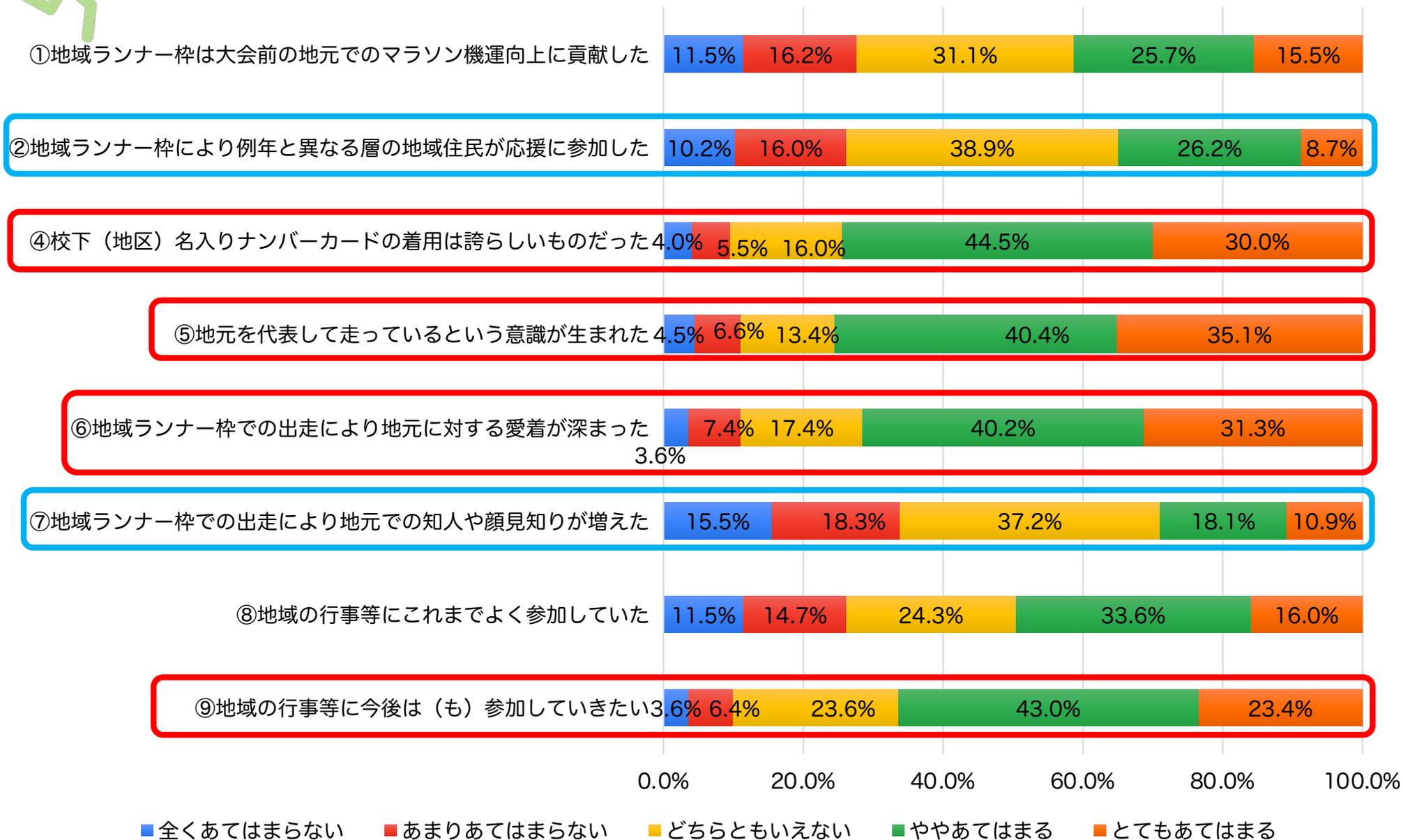
地域ランナー枠の効果等 (2022大会,n=309)



2021年度と同様の傾向、「地域行事への過去参加実績」は減少



地域ランナーの効果等（2023大会,n=470）



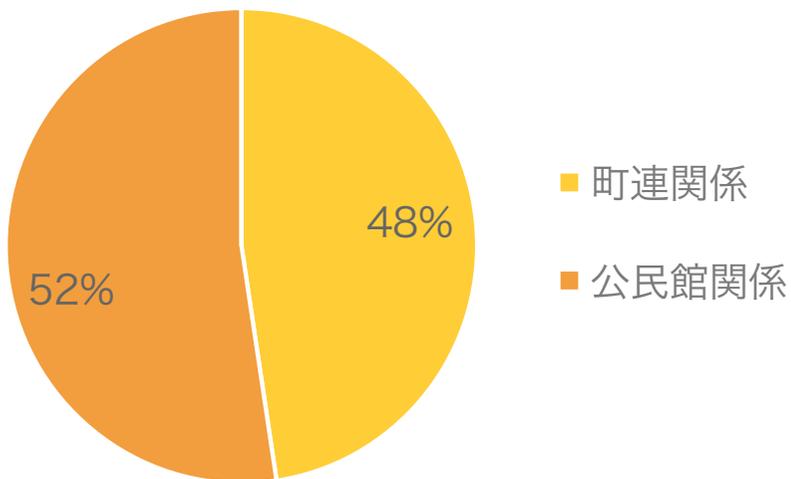
地区名入りナンバーカードを誇らしく感じ、地元を代表している意識が生まれ、地元への愛着を深め、今後の行事参加意欲を高めていた。

応援スポット（地元側）の回答 （過年度データを含む）

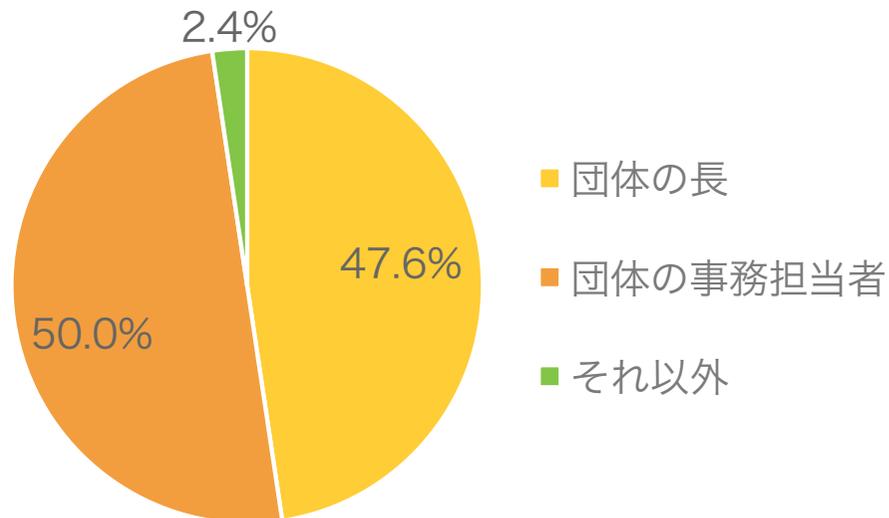


調査結果 (各校下 (地域) 関係者)

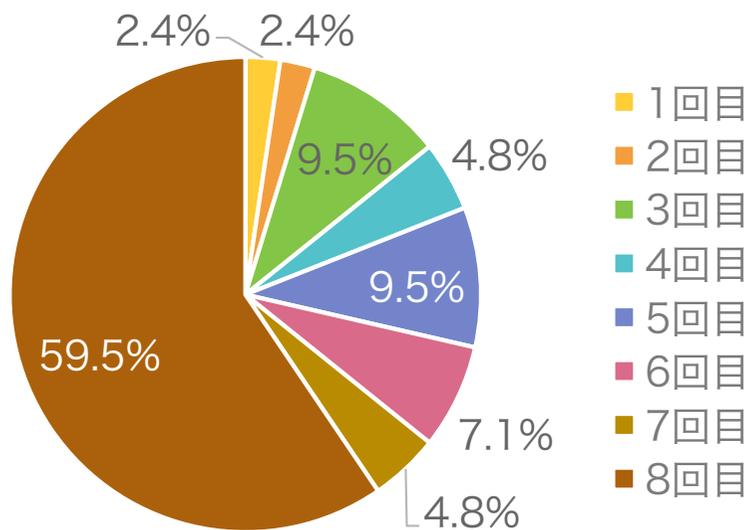
回答者の区分



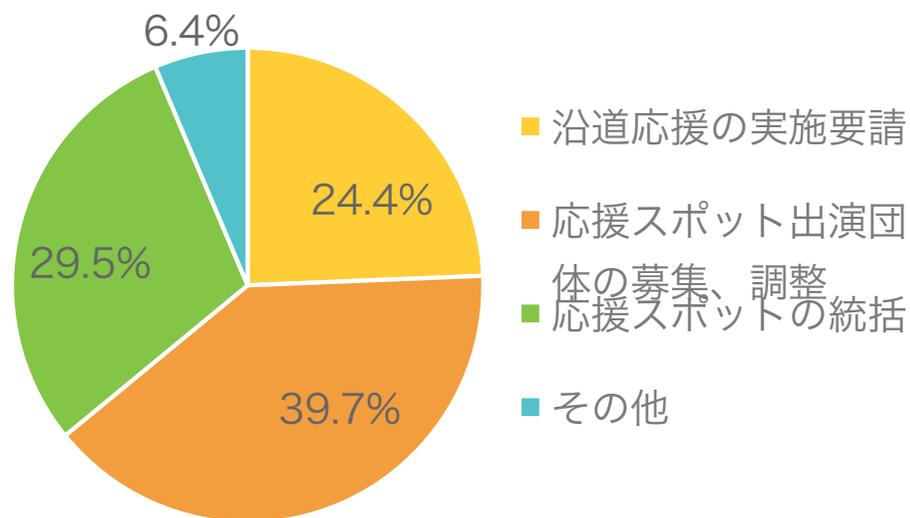
回答者の立場



金沢マラソンに関わった回数

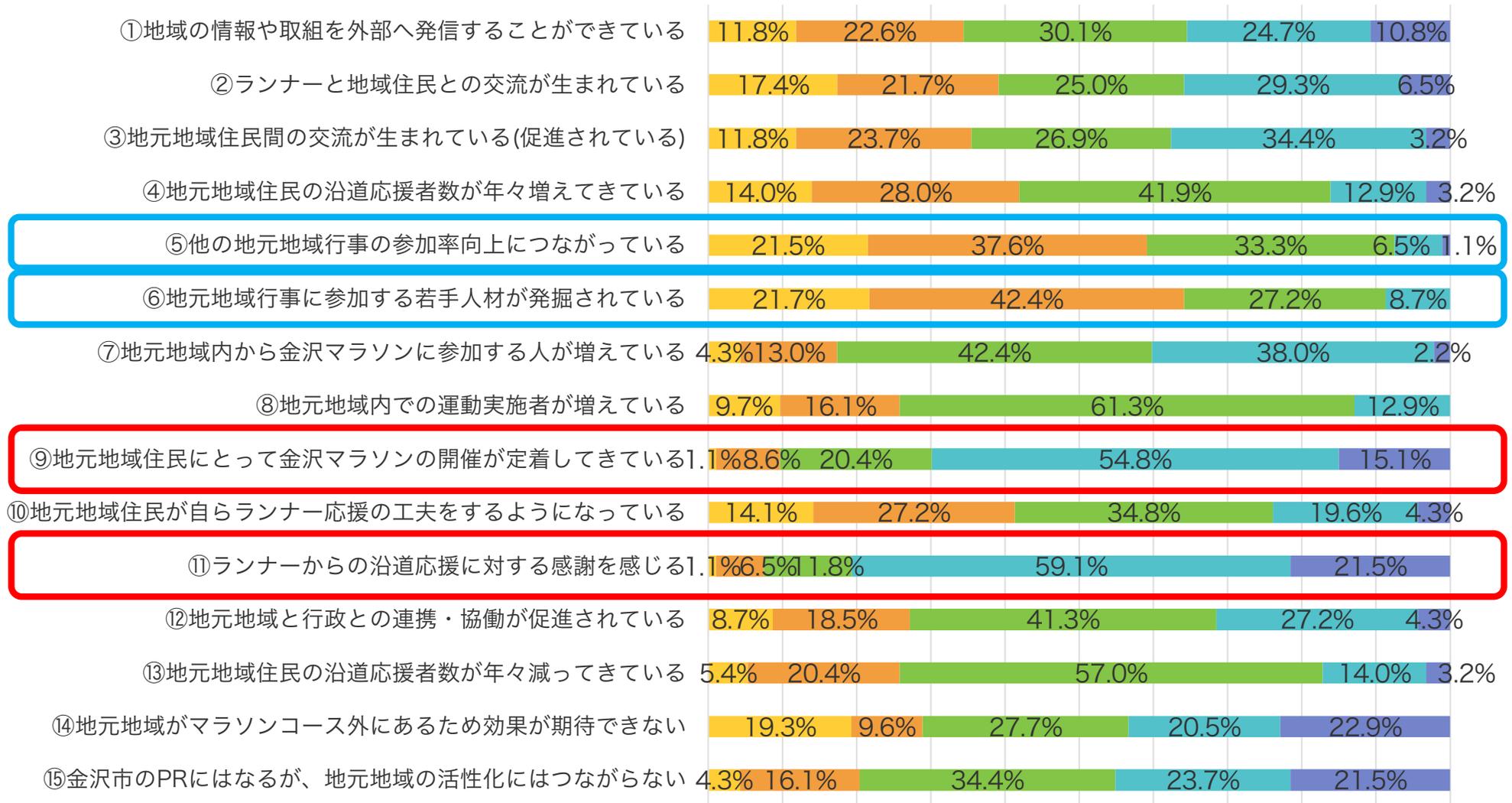


実施した取組み (複数回答)





金沢マラソンによる効果や影響（各校下（地域）関係者，2021大会,n=93）

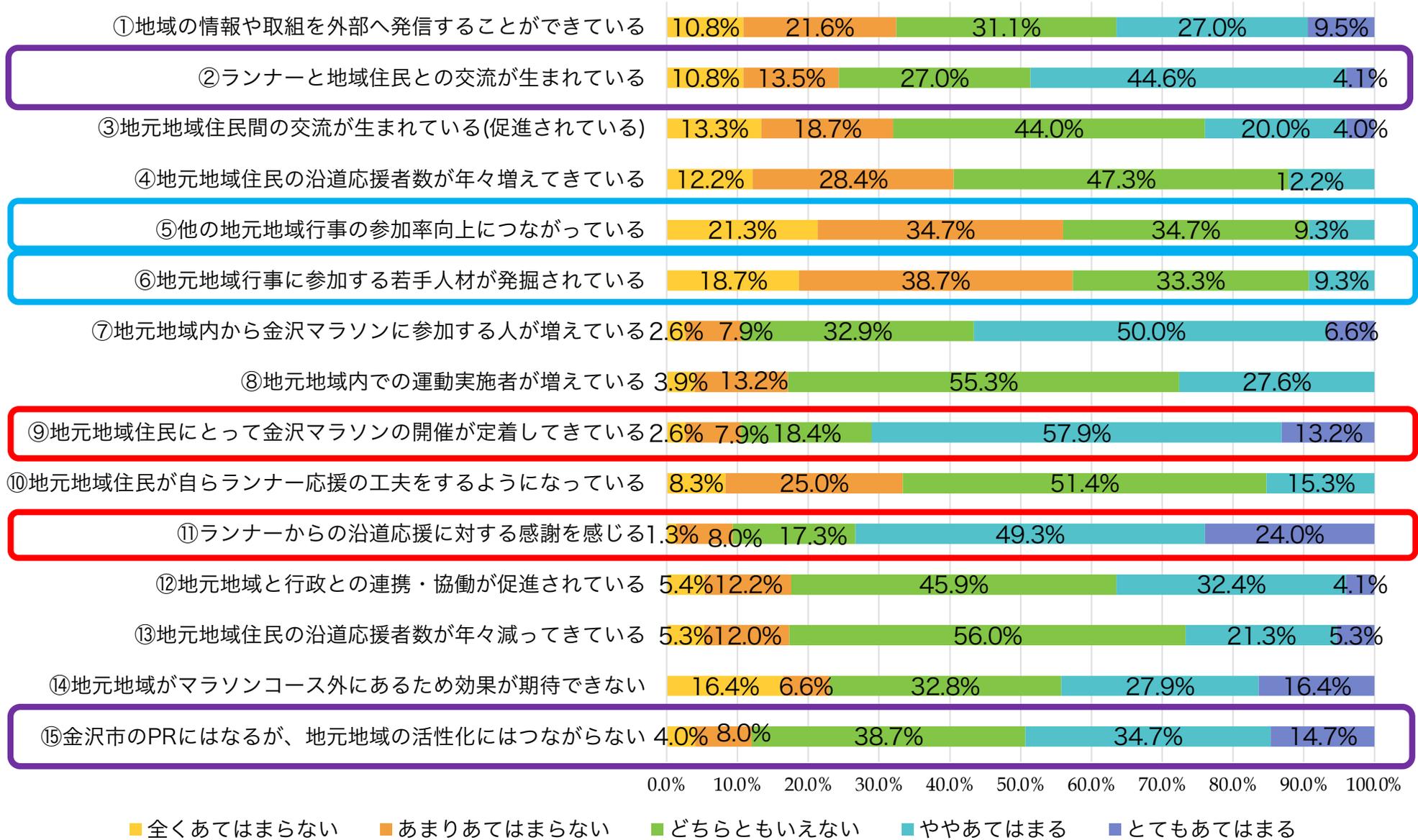


0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ 全くあてはまらない ■ あまりあてはまらない ■ どちらともいえない ■ ややあてはまる ■ とてもあてはまる



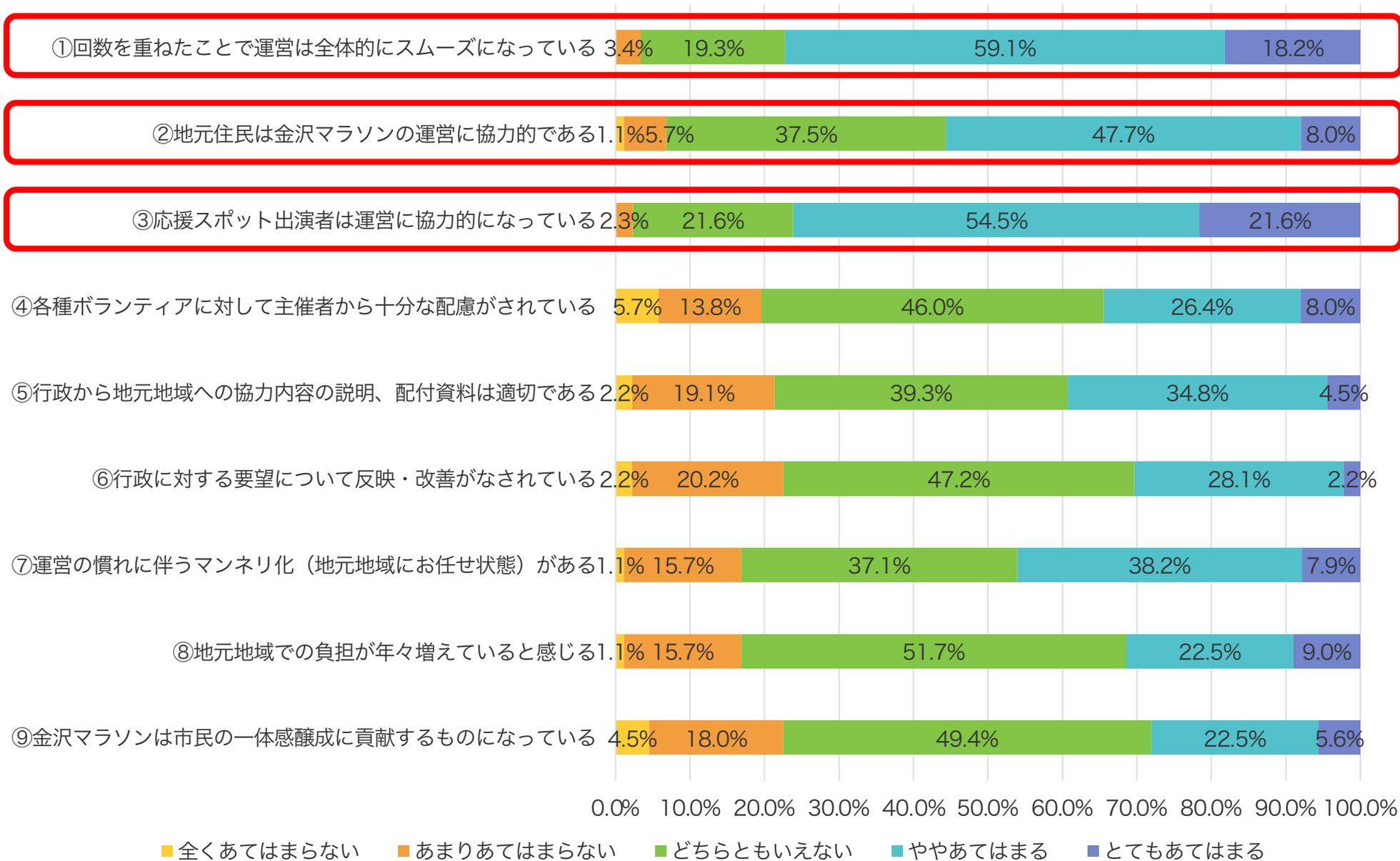
金沢マラソンによる効果や影響（各校下（地域）関係者，2022大会,n=76）



ランナーと地域住民との交流は促進傾向、地元活性化への実感は薄い

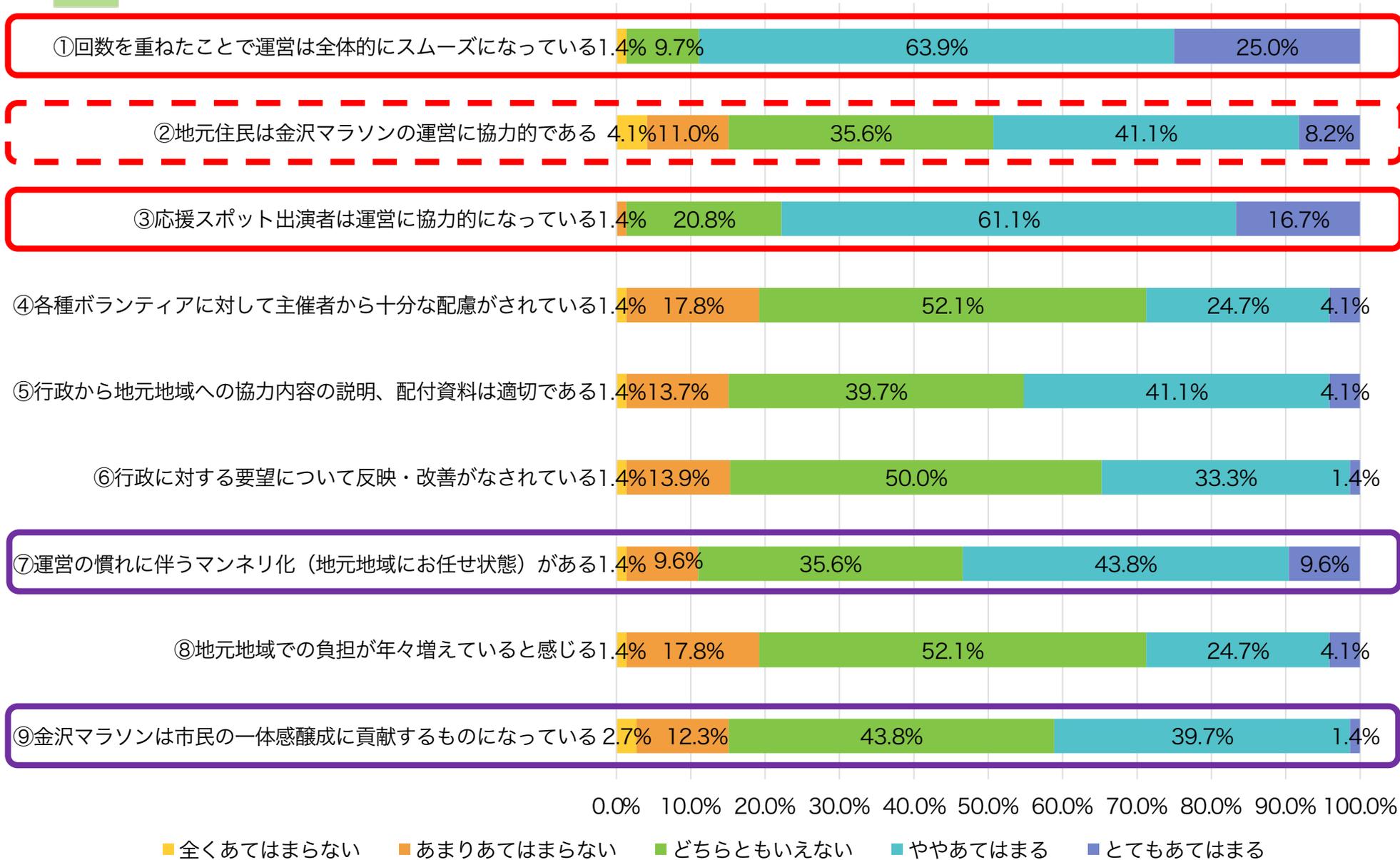


金沢マラソンの運営について（各校下（地域）関係者，2021大会,n=93）





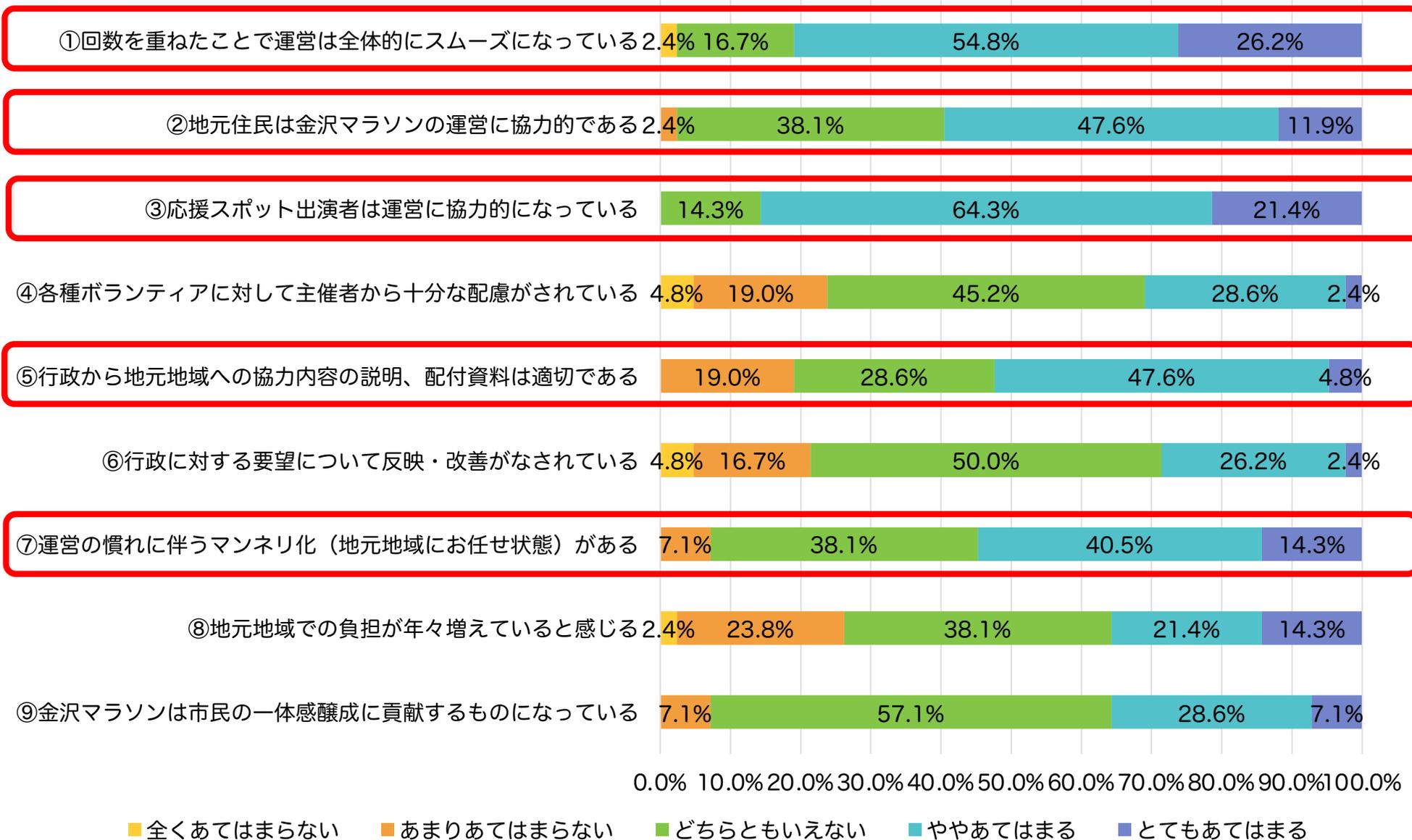
金沢マラソンの運営について（各校下（地域）関係者，2022大会,n=76）



地元住民の運営協力↓、お任せ感↑、一体感醸成↑の傾向！？



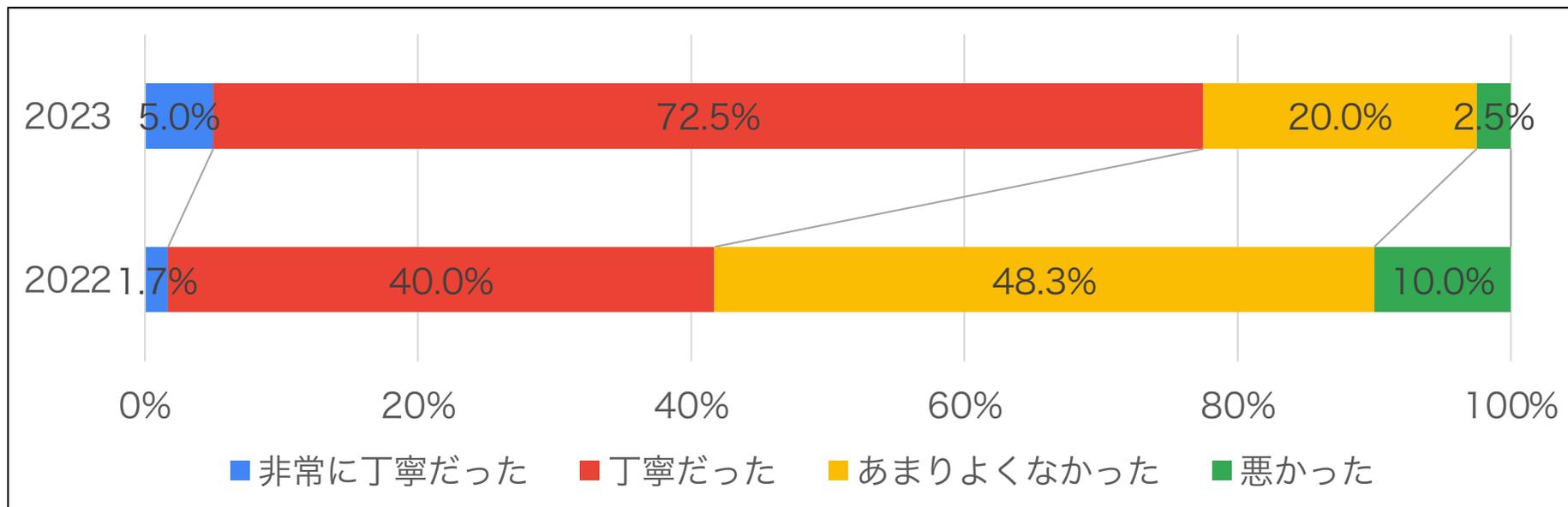
金沢マラソンの運営について（各校下（地域）関係者，2023大会，n=42）



前年度から変わらず、運営はスムーズ、関係者は協力的とする一方でボランティア、地域への対応に関しては低評価



(各校下 (地域) 関係者)
大会事務局からの「地域ランナー」に
ついての事前情報提供

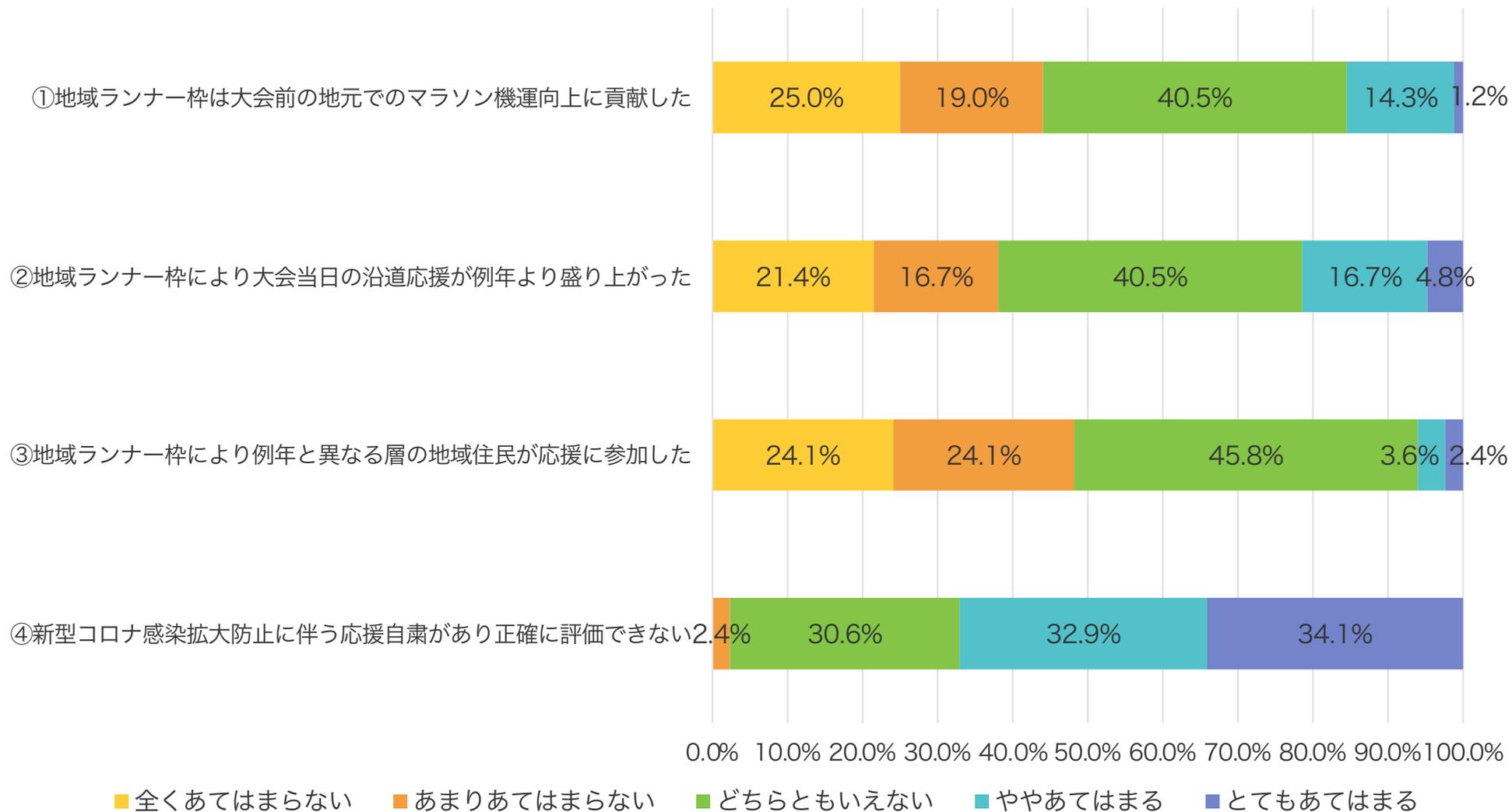


理由についての自由記述 (抜粋)

非常に丁寧／丁寧	あまりよくなかった／悪かった
<ul style="list-style-type: none">・ 事前にメールにて情報が発信され共有できた。・ 前もってお名前がわかっていたので応援グッズを作ることができた。・ 事前に名簿やランナー情報が提供された・ メールや書面での連絡があった	地域ランナーへの連絡方法が郵便しかなく不便/地域ランナー自身が地域ランナーと理解していなかった/市町連会議で担当者から概要説明があり、後日メールで名簿が届いただけ/メールでの連絡のみでどう処理すればよいのか不明/エントリー前に、地域ランナーに関するメリット (当選の確率UPとか?) を明確に説明していないと、RUNNETで申し込むときにはよくわからない。公民館の出入りしていない人にはわからないのではないか

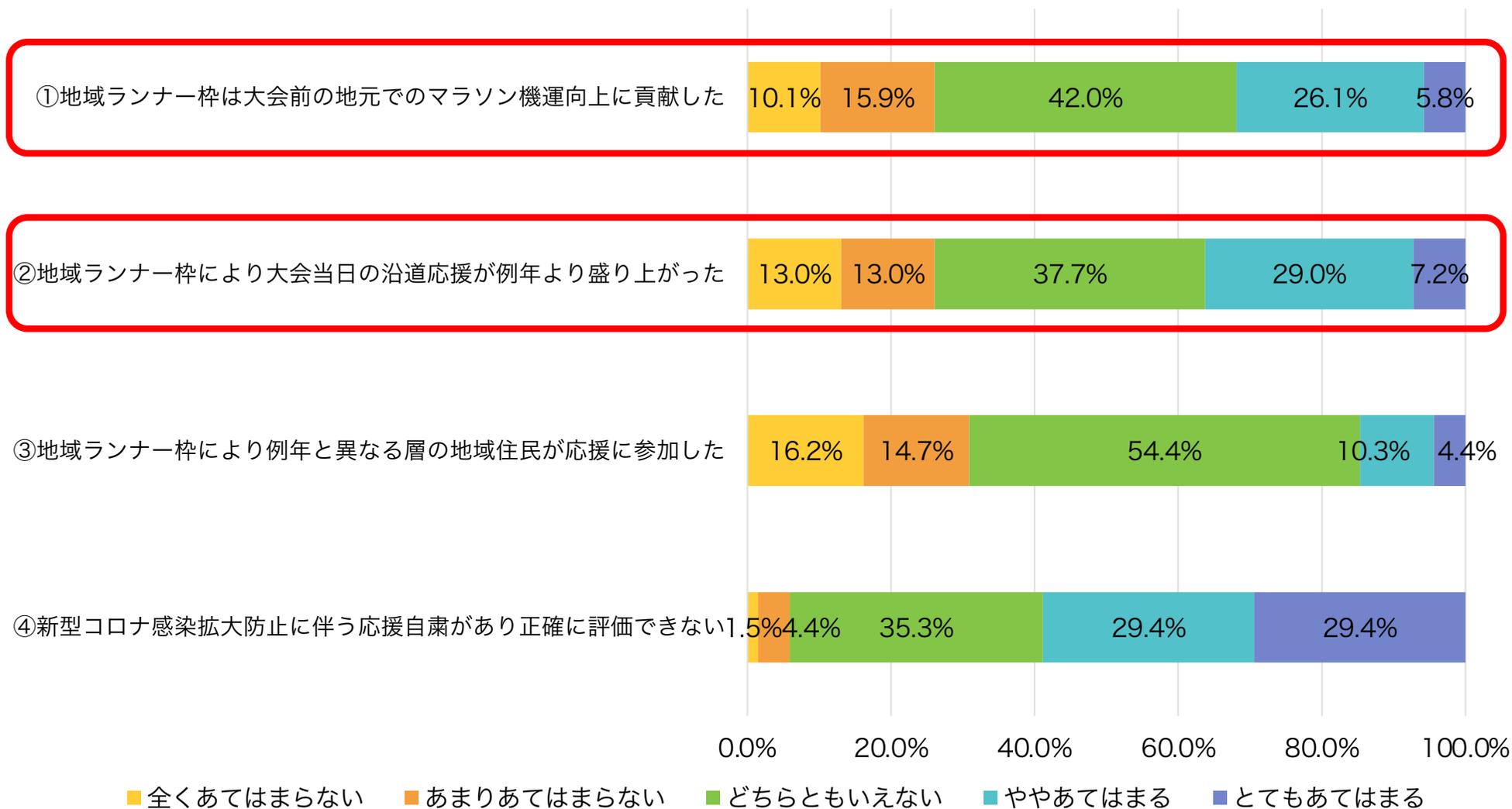


「地域ランナー枠」の効果（各校下（地域）関係者，2021大会,n=93）





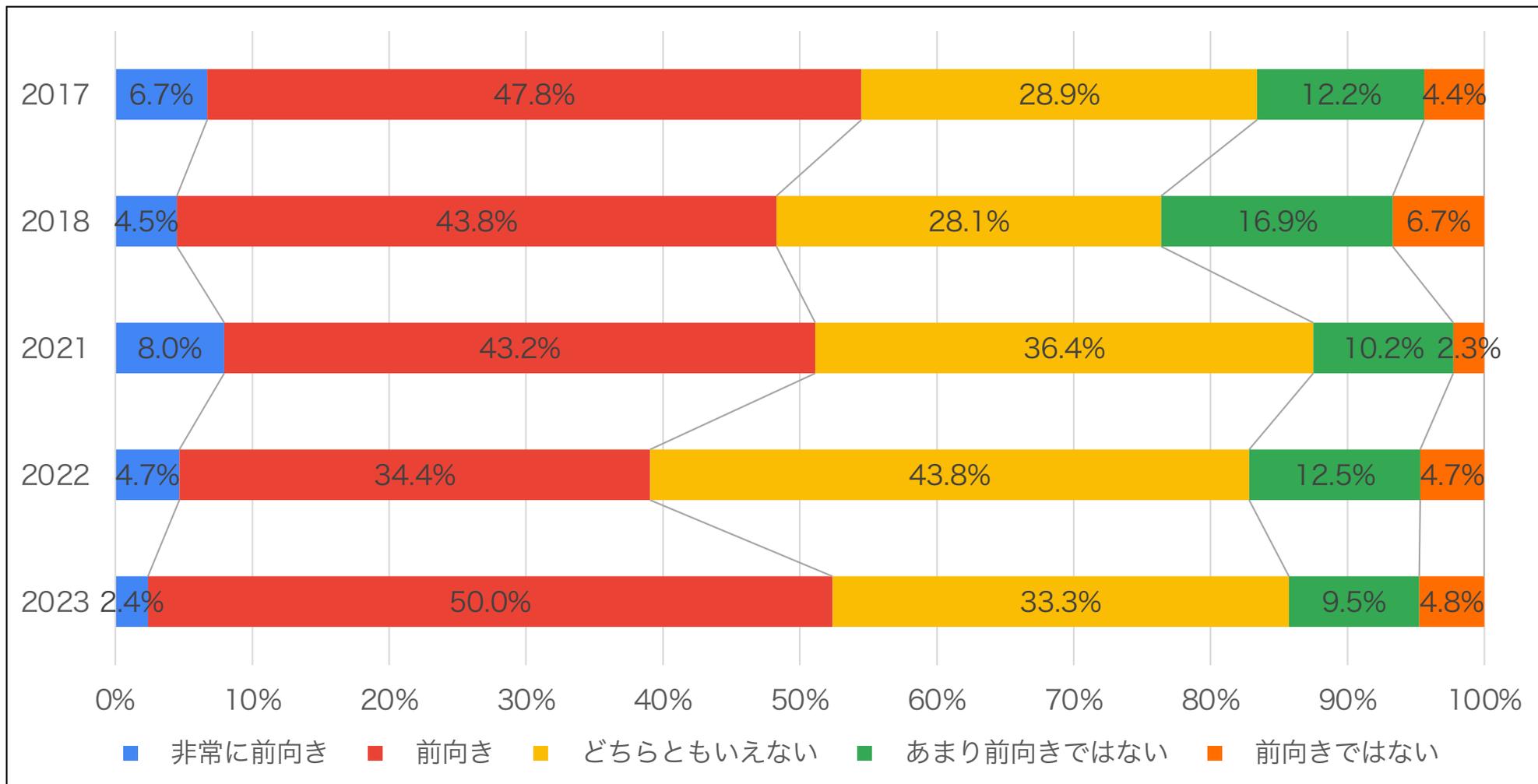
「地域ランナー枠」の効果（各校下（地域）関係者，2022大会,n=76）



「地域ランナー枠」は機運向上、沿道応援の盛り上がり貢献の傾向



今後の金沢マラソンへの運営協力意欲 (各校下 (地域) 関係者, 2023大会,n=42)



2022→2023で📈傾向、コロナ後、沿道応援の解禁が影響か？